

令和3年度

教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価
報告書

台東区教育委員会

目 次

1 目的及び根拠	3
2 点検及び評価の対象	4
3 点検及び評価の方法	7
4 学識経験を有する者の知見の活用	9
5 点検及び評価の結果	9
基本目標1 生涯スポーツ社会の実現	15
(1)子供の体力向上	15
①幼児の体力向上	15
②児童・生徒の体力向上	17
(2)高齢者が健康に暮らせるスポーツ施策の充実	22
①地域のつながりの強化	22
(3)働き盛り・子育て世代への支援	23
①気軽にスポーツに触れる機会の創出	23
②親子で参加できるスポーツ事業の実施	24
(4)身近なスポーツ環境づくり	26
①正しいラジオ体操の普及・推進	26
②スポーツを始めるきっかけづくり	28
③誰でも参加できる教室事業	31
④区民が活躍する大会事業	33
(5)スポーツを支えあうひとのつながり	35
①ボランティアの育成	35
②スポーツを行う団体との連携	36
③スポーツを支える指導者の育成	39
(6)スポーツに関する講座の開催・情報発信	41
①スポーツへの理解を深める講座の開催	41
②スポーツ情報の発信	42
基本目標2 スポーツのできる環境の整備	43
(1)台東リバーサイドスポーツセンター屋外施設の整備	43
①陸上競技場の改築及び庭球場等周辺環境の整備	43
②野球場の老朽化対策	43
(2)バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進	44
①建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	44

②心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	45
(3)快適に利用できるスポーツ施設の運営	47
①スポーツ施設の管理運営	47
②区外スポーツ施設の活用	50
(4)身近な運動場所の確保	51
①区立小・中学校の活用	51
②その他の施設の活用	52
基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現	
(障害者スポーツの推進)	55
(1)パラリンピックの気運醸成	55
①パラリンピック競技の団体に対する支援	55
②パラリンピック競技の大会誘致	55
(2)障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり	56
①障害者スポーツの初心者に向けた教室	56
②気軽に障害者スポーツに触れる機会	57
(3)障害者スポーツを継続できる環境づくり	58
①継続したスポーツ教室・イベント事業	58
②誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくり	59
(4)障害者スポーツを通じた相互理解	61
①共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座	61
②障害者スポーツによる区民の交流	63
6 学識経験者による意見	66
7 参考資料	75
・教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧	
・台東区教育大綱	
・教育目標	

1 目的及び根拠

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月からすべての教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

台東区教育委員会では、教育行政をより効果的、効率的に推進するため、平成20年度から主要な施策や事務事業の取り組み状況について点検及び評価を毎年実施しており、令和3年度の点検及び評価の実施結果を報告書にまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象

台東区教育委員会では、平成30年度から4年間をかけて、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「生涯学習推進プラン」及び「スポーツ振興基本計画」の3つの計画の内、教育委員会以外の事業を除いた全ての施策及び事業について点検及び評価を行っています。今年度については、「スポーツ振興基本計画」を対象に基本目標及び事業について点検及び評価を行いました。基本目標については、取組を構成する事業の成果や課題等を踏まえて総合的に点検及び評価を行っています。

点検及び評価を行った95事業は下記の表のとおりです(下記の表は、スポーツ振興基本計画の施策体系図から教育委員会以外の事業を除いたもの。なお、「NO.」はそれぞれ、台東区スポーツ振興基本計画の基本目標－施策－取組－事業番号を表す。再掲事業については、最初の掲載番号を[]内に記載している。)

通し 番号	NO. (基本目標-施策- 取組-事業番号)	事業名等	掲載 ページ
1	1-(1)-①-1	幼児運動教室	15
2	1-(1)-①-2	幼児水泳教室	15
3	1-(1)-①-3	幼児がのびのびと運動できる場所の整備	16
4	1-(1)-①-4	幼児の体力向上指導	16
5	1-(1)-①-5	幼児の体力向上支援	17
6	1-(1)-②-7	小・中学生の体力向上	17
7	1-(1)-②-8	ジュニア駅伝大会	18
8	1-(1)-②-9	わんぱくトライアスロン	18
9	1-(1)-②-10	台東リバーサイドスポーツセンター 小・中学生開放	19
10	1-(1)-②-11	ジュニア育成推進	19
11	1-(1)-②-12	小学校連合運動会	20
12	1-(1)-②-13	中学校連合陸上競技大会	20
13	1-(1)-②-14	専門的指導員の活用	21
14	1-(2)-①-16	シニアスポーツ振興	22
15	1-(3)-①-26	アスリートから学ぶ Let's Enjoy スポーツ	23
16	1-(3)-①-27	体力診断テストの実施	23
17	1-(3)-①-28	ニュースポーツの普及推進	24
18	1-(3)-②-29	親子水泳教室	24
19	1-(3)-②-30	親子参加型スポーツ教室	25
20	1-(3)-②-31	親子の時間	25
21	1-(4)-①-32	正しいラジオ体操の指導	26
22	1-(4)-①-33	ラジオ体操指導者講習会	26
23	1-(4)-①-34	夏期ラジオ体操会地区大会の開催	27
24	1-(4)-①-35	ラジオ体操会の開催支援	27
25	1-(4)-②-36	台東区フィジカルプロデューサーの活用	28

通し 番号	NO. (基本目標-施策- 取組-事業番号)		
26	1-(4)-②-37	初心者スポーツ教室	28
27	1-(4)-②-38	チャレンジスポーツ教室	29
28	1-(4)-②-39	台東リバーサイドスポーツセンター 一般開放	29
29	1-(4)-②-40	体育の日記念行事の開催	30
30	1-(4)-②	アスリートから学ぶ Let's Enjoy スポーツ【再掲事業26】	30
31	1-(4)-③-42	生涯学習センタートレーニングルームレッスン	31
32	1-(4)-③-43	都立浅草高等学校温水プール区民開放水泳教室	31
33	1-(4)-③-44	清島温水プール水泳教室	32
34	1-(4)-③-45	台東リバーサイドスポーツセンター スポーツ教室	32
35	1-(4)-④-46	都市スポーツ交流会	33
36	1-(4)-④-47	区民体育祭の開催	33
37	1-(4)-④-48	都民体育大会等への代表選手派遣	34
38	1-(5)-①-49	スポーツボランティアを育む	35
39	1-(5)-①-50	東京マラソンボランティア参加支援	35
40	1-(5)-①-51	学習支援ボランティア	36
41	1-(5)-②-52	総合型地域スポーツクラブ支援	36
42	1-(5)-②-53	生涯スポーツ関係協議会支援	37
43	1-(5)-②-54	体育団体助成	37
44	1-(5)-②-55	スポーツ推進委員協議会支援	38
45	1-(5)-②-58	社会教育団体登録・育成	38
46	1-(5)-③-59	スポーツひろば指導員育成	39
47	1-(5)-③	初級障がい者スポーツ指導員養成【再掲事業105】	39
48	1-(5)-③	障害者水泳指導員の養成【再掲事業106】	40
49	1-(6)-①-61	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座	41
50	1-(6)-①-62	生涯学習ラーニングスクエア	41
51	1-(6)-②-66	スポーツ情報の発信	42
52	1-(6)-②-67	生涯学習情報の発信	42
53	2-(1)-①-68	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改築及び 庭球場等周辺環境の整備	43
54	2-(1)-②-69	台東リバーサイドスポーツセンター野球場人工芝張替	43
55	2-(2)-①-71	台東リバーサイドスポーツセンター	44
56	2-(2)-①-72	柳北スポーツプラザ	44
57	2-(2)-②-73	区立スポーツ施設職員の教育	45
58	2-(2)-②	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座【再掲事業61】	45
59	2-(2)-②	区立小・中学校での障害者スポーツ教育【再掲事業107】	46
60	2-(3)-①-74	台東リバーサイドスポーツセンター	47
61	2-(3)-①-75	清島温水プール	47
62	2-(3)-①-76	柳北スポーツプラザ	48
63	2-(3)-①-77	たなかスポーツプラザ	48
64	2-(3)-①-78	生涯学習センタートレーニングルーム	49
65	2-(3)-①	区立スポーツ施設職員の教育【再掲事業73】	49
66	2-(3)-②-79	荒川河川敷運動公園運動場	50
67	2-(3)-②-80	江戸川河川敷野球場	50
68	2-(4)-①-81	学校開放	51
69	2-(4)-①-82	スポーツひろば	51
70	2-(4)-①	幼児がのびのびと運動できる場所の整備【再掲事業3】	52
71	2-(4)-②-83	ランニング環境の整備	52

通し 番号	NO. (基本目標-施策- 取組-事業番号)		
72	2-(4)-②-84	都立浅草高等学校温水プール区民開放	53
73	2-(4)-②-88	児童館・こどもクラブ	53
74	2-(4)-②-89	放課後子ども広場 (平成30年度から放課後子供教室に名称変更)	54
75	3-(1)-①-91	パラリンピック出場予定のアスリートへの支援及び連携	55
76	3-(1)-②-92	パラリンピック競技の大会誘致	55
77	3-(2)-①-93	障スポチャレンジ	56
78	3-(2)-①-94	障害者水泳教室	56
79	3-(2)-②-95	障害者スポーツ体験会	57
80	3-(2)-②-96	障害者スポーツ出前体験事業	57
81	3-(3)-①-97	下谷青年学級	58
82	3-(3)-①-98	城北ブロック4区合同レクリエーション大会	58
83	3-(3)-②-104	障害者スポーツ優先利用タイムの導入	59
84	3-(3)-②	区立スポーツ施設職員の教育【再掲事業73】	59
85	3-(3)-②	下谷青年学級【再掲事業97】	60
86	3-(4)-①-105	初級障がい者スポーツ指導員養成	61
87	3-(4)-①-106	障害者水泳指導員の養成	61
88	3-(4)-①-107	区立小・中学校での障害者スポーツ教育	62
89	3-(4)-①	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座【再掲事業61】	62
90	3-(4)-①	区立スポーツ施設職員の教育【再掲事業73】	63
91	3-(4)-②-108	総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの実施	63
92	3-(4)-②-109	地域スポーツ団体と連携した障害者スポーツの実施	64
93	3-(4)-②	障スポチャレンジ【再掲事業93】	64
94	3-(4)-②	障害者スポーツ体験会【再掲事業95】	65
95	3-(4)-②	障害者スポーツ出前体験事業【再掲事業96】	65

3 点検及び評価の方法

台東区教育委員会では、世界最大のスポーツ・平和の祭典である2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としてスポーツをさらに振興するため、基本理念及びその実現に向けた基本目標を掲げて各事業に取り組んでいます。

本報告書では、取組及び事業を客観的な基準で採点し、評価するために、教育施策総括シート及び教育事業評価シートを活用しました。

(1)教育施策総括シート

教育施策総括シートには、各計画ごとに掲げた基本目標に対して、昨年度の実績結果をまとめました。また、それぞれの施策の評価を一覧としてまとめました。

【取組等一覧の見方】

評価に際し、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小や中止などを明記した評価B及びCの内数。

数値は事業数を表しており、「基本目標」及び「施策」の段階でそれぞれの評価の事業が何個あるかを表しています。

【基本目標】		A	B	C	※	計
施策						
No.	取組					
【基本目標】 1	生涯スポーツ社会の実現	15	2	35	36	52
(1)	子供の体力向上	4	0	9	9	13
1-(1)-①	幼児の体力向上	3	0	2	2	5
1-(1)-②	児童・生徒の体力向上	1	0	7	7	8

NO.は、「基本目標－(施策)－取組」を表しています。

横の計は、各取組に位置付けられている事業数とイコールになります。

(2)教育事業評価シート

教育事業評価シートの見方は下記のとおりです。

NO.	①	
取組	②	
事業名	③	
事業の概要	④	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	⑤
	事業実績	⑥
	事業の成果	⑦
	事業の課題	⑧
担当課評価	⑨	⑩

⑪【●●課】

【教育事業評価シートの見方】

- ①②③…各計画ごとの位置づけ
- ④…各計画に記載されている事業の概要
- ⑤…事業の令和2年度の目標及び取組内容
- ⑥…事業の令和2年度の実績
- ⑦…事業の令和2年度の成果
- ⑧…⑥と⑦を受けた事業の課題
- ⑨…評価基準に基づいて担当課ごとに行った評価
- ⑩…⑨のように評価した理由
- ⑪…事業の所管課名

《評価基準》

- 計画事業量が「数値化（●回、●%等）」
- 「A」・・・達成率が100%以上
- 「B」・・・達成率が50%～100%未満
- 「C」・・・達成率が50%未満

- 計画事業量が「文言表記(推進・実施等)」
- 「A」・・・取組項目が全て「○」
- 「B」・・・取組項目全て「○」ではないが、半数以上が「○」
- 「C」・・・取組項目「○」が半数未満

4 学識経験を有する者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方のご意見をお聞きする機会を設け、様々なご意見、ご助言をいただきました。

■ 学識経験者

氏名	所属等
尾木 和英	東京女子体育大学名誉教授
前田 烈	大智学園高等学校顧問
有村 久春	東京聖栄大学教授

5 点検及び評価の結果

今回行った点検及び評価の結果については、次ページ以降のとおりです。

教育施策総括シート

【基本目標】 1 生涯スポーツ社会の実現

「スポーツで みんなが つながり 輝く 台東区」を実現するためには、区民それぞれの体力や年齢、技術、目的に応じたスポーツの機会が継続的に提供されることが必要です。また、スポーツの広がりが継続するためには、スポーツを「する人」だけでなく、地域スポーツ団体やボランティアといったスポーツを「支える人」への支援も欠かせません。

生涯にわたってスポーツに親しむための様々な事業（ソフト）を実施し、多くの人にスポーツに触れてもらうことで、スポーツ実施率を世界最高レベル(※)の70%まで高め、生涯スポーツ社会の実現を目指します。

※出典「東京都スポーツ推進計画」（平成25年3月）

基本目標に対する昨年度の取組結果

○施策1 「子供の体力向上」

「幼児の体力向上」、「児童・生徒の体力向上」については、新型コロナウイルスにより事業が中止または規模を縮小しての実施となったため、9つの事業が目標値の半数未満に届かなかった。

○施策2 「高齢者が健康に暮らせるスポーツ施策の充実」

「地域のつながりの強化」については、新型コロナウイルスにより事業が中止となったため、1つの事業が目標値に届かなかった。

○施策3 「働き盛り・子育て世代への支援」

「気軽にスポーツに触れる機会の創出」及び「親子で参加できるスポーツ事業の実施」については、新型コロナウイルスにより事業が中止（延期）となったため、4つの事業が目標値に届かなかった。

○施策4 「身近なスポーツ環境づくり」

「正しいラジオ体操の普及・推進」、「スポーツを始めるきっかけづくり」、「誰でも参加できる教室事業」及び「区民が活躍する大会事業」については、新型コロナウイルスにより事業が中止または規模を縮小しての実施となったため、15個の事業が目標値に届かなかった。

○施策5 「スポーツを支えあうひとのつながり」

「ボランティアの育成」、「スポーツを行う団体との連携」及び「スポーツを支える指導者の育成」については、新型コロナウイルスにより事業が中止または規模を縮小しての実施となったため、5つの事業が目標値に届かなかった。

○施策6 「スポーツに関する講座の開催・情報発信」

「スポーツへの理解を深める講座の開催」及び「スポーツ情報の発信」については、新型コロナウイルスにより規模を縮小しての実施となったため、2つの事業が目標値に届かなかった。

【基本目標】 2 スポーツのできる環境の整備

区民がスポーツを身近で親しむためには、区立スポーツ施設の適切な維持管理はもちろん、スポーツのできる場所の充実等への対応が必要です。また、スポーツのできる環境は、障害の有無や年齢に関わらず、誰でも利用しやすいようバリアフリー・ユニバーサルデザインを推進する必要があります。

区民の誰もが身近で、安心してスポーツができる環境の整備を行います。

基本目標に対する昨年度の実績結果

○施策1 「台東リバーサイドスポーツセンター屋外施設の整備」

「陸上競技場の改築及び庭球場等周辺環境の整備」については、半数以上の達成となった。

「野球場の老朽化対策」については、事業完了しているため計画目標を達成した。

○施策2 「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進」

「建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン」については、施設全体の規模からすると、いずれも半数未満の整備にとどまっているため、いずれの事業も目標値に届かなかった。また、「心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン」については、新型コロナウイルスにより規模を縮小しての実施となったため、2つの事業が目標値に届かなかった。

○施策3 「快適に利用できるスポーツ施設の運営」

「スポーツ施設の管理運営」及び「区外スポーツ施設の活用」については、新型コロナウイルスによる施設の休館により利用者数が目標値を下回ったため、7つの事業が目標値に届かなかった。

○施策4 「身近な運動場所の確保」

「区立小・中学校の活用」及び「その他の施設の活用」については、新型コロナウイルスにより施設の休館または規模を縮小しての実施となったため、4つの事業が目標値に届かなかった。

【基本目標】3 スポーツにより支えあう社会の実現（障害者スポーツの推進）

スポーツは障害の有無に関わらず、生活を豊かにし、感動を共に分かち合える素晴らしい力をもっています。また、障害者スポーツの推進は地域社会の活性化や健康社会、共生社会の構築につながります。

パラリンピック競技大会の開催をきっかけに、障害者スポーツの理解を広める様々な取り組みを実施し、障害者スポーツに関心を持つ区民の割合を70%にまで高め、障害のある方となの方の相互理解を進めることで、スポーツにより支えあう社会の実現を目指します。

基本目標に対する昨年度の実績結果

○施策1 「パラリンピックの気運醸成」

「パラリンピック競技の団体に対する支援」、「パラリンピック競技の大会誘致」については、新型コロナウイルスにより事業が中止となったため、いずれの事業も目標値に届かなかった。

○施策2 「障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり」

「障害者スポーツの初心者に向けた教室」、「気軽に障害者スポーツに触れる機会」については、新型コロナウイルスにより事業が中止または規模を縮小しての実施となったため、3つの事業が目標値に届かなかった。

○施策3 「障害者スポーツを継続できる環境づくり」

「継続したスポーツ教室・イベント事業」及び「誰もが楽しく障害者障害者スポーツをできる場所づくり」については、新型コロナウイルスにより事業が中止または規模を縮小しての実施となったため、3つの事業が目標値に届かなかった。

○施策4 「障害者スポーツを通じた相互理解」

「共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座」、「障害者スポーツによる区民の交流」については、新型コロナウイルスにより事業または規模を縮小しての実施となったため、7つの事業が目標値に届かなかった。

取組等一覧

施 策		A	B	C	※	計
No.	取組					
【基本目標】 1 生涯スポーツ社会の実現		15	2	35	36	52
(1) 子供の体力向上		4	0	9	9	13
1-(1)-①	幼児の体力向上	3	0	2	2	5
1-(1)-②	児童・生徒の体力向上	1	0	7	7	8
(2) 高齢者が健康に暮らせるスポーツ施策の充実		0	0	1	1	1
1-(2)-①	地域のつながりの強化	0	0	1	1	1
(3) 働き盛り・子育て世代への支援		2	0	4	4	6
1-(3)-①	気軽にスポーツに触れる機会の創出	0	0	3	3	3
1-(3)-②	親子で参加できるスポーツ事業の実施	2	0	1	1	3
(4) 身近なスポーツ環境づくり		2	1	14	15	17
1-(4)-①	正しいラジオ体操の普及・推進	0	0	4	4	4
1-(4)-②	スポーツを始めるきっかけづくり	0	0	6	6	6
1-(4)-③	誰でも参加できる教室事業	1	1	2	3	4
1-(4)-④	区民が活躍する大会事業	1	0	2	2	3
(5) スポーツを支えあうひとのつながり		6	0	5	5	11
1-(5)-①	ボランティアの育成	2	0	1	1	3
1-(5)-②	スポーツを行う団体との連携	3	0	2	2	5
1-(5)-③	スポーツを支える指導者の育成	1	0	2	2	3
(6) スポーツに関する講座の開催・情報発信		1	1	2	2	4
1-(6)-①	スポーツへの理解を深める講座の開催	0	0	2	2	2
1-(6)-②	スポーツ情報の発信	1	1	0	0	2
【基本目標】 2 スポーツのできる環境の整備		9	3	10	13	22
(1) 台東リバーサイドスポーツセンター屋外施設の整備		2	0	0	0	2
2-(1)-①	陸上競技場の改築及び庭球場等周辺環境の整備	1	0	0	0	1
2-(1)-②	野球場の老朽化対策	1	0	0	0	1
(2) バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進		3	1	1	2	5
2-(2)-①	建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	2	0	0	0	2
2-(2)-②	心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	1	1	1	2	3
(3) 快適に利用できるスポーツ施設の運営		1	2	5	7	8
2-(3)-①	スポーツ施設の管理運営	1	1	4	5	6
2-(3)-②	区外スポーツ施設の活用	0	1	1	2	2

		A	B	C	※	計
(4) 身近な運動場所の確保		3	0	4	4	7
2-(4)-①	区立小・中学校の活用	0	0	3	3	3
2-(4)-②	その他の施設の活用	3	0	1	1	4
【基本目標】3 スポーツにより支えあう社会の実現 (障害者スポーツの推進)		6	3	12	15	21
(1) パラリンピックの気運醸成		0	0	2	2	2
3-(1)-①	パラリンピック競技の団体に対する支援	0	0	1	1	1
3-(1)-②	パラリンピック競技の大会誘致	0	0	1	1	1
(2) 障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり		1	1	2	3	4
3-(2)-①	障害者スポーツの初心者に向けた教室	1	0	1	1	2
3-(2)-②	気軽に障害者スポーツに触れる機会	0	1	1	2	2
(3) 障害者スポーツをできる場所づくり		2	0	3	3	5
3-(3)-①	継続したスポーツ教室・イベント事業	0	0	2	2	2
3-(3)-②	誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくり	2	0	1	1	3
(4) 障害者スポーツを通じた相互理解		3	2	5	7	10
3-(4)-①	共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座	2	1	2	3	5
3-(4)-②	障害者スポーツによる区民の交流	1	1	3	4	5
合計		30	8	57	64	95

※一覧のうち「※」の欄については、評価に際し、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小や中止などを明記した評価B及びCの内数。

《評価基準》

■計画事業量が「数値化(●回、●%等)」

「A」・・・達成率が100%以上

「B」・・・達成率が50%～100%未満

「C」・・・達成率が50%未満

■計画事業量が「文言表記(推進・実施等)」

「A」・・・取組項目が全て「○」

「B」・・・取組項目全て「○」ではないが、半数以上が「○」

「C」・・・取組項目「○」が半数未満

【基本目標 1 生涯スポーツ社会の実現】

【(1) 子供の体力向上】

NO.	1-(1)-①-1	
取組	①幼児の体力向上	
事業名	1 幼児運動教室	
事業の概要	幼児の健やかな心と体作りのため、成長が著しい幼児を対象に、その特性に合わせた様々な身体の動かし方を学ぶ運動教室を実施し、幼児が身体を動かす習慣を作る。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり幼児運動教室を実施する。 開催場所 3箇所
	事業実績	下記のとおり幼児運動教室を実施 開催場所 3箇所(新型コロナウイルスにより規模縮小)
	事業の成果	各教室とも定員を上回る申し込みがあり、区民ニーズが非常に高い。今後も生涯スポーツ社会の実現に向けて、子供の体力向上につながる本事業を引き続き実施していく。
	事業の課題	事業へのニーズが非常に高いことから、引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍での教室実施方法について検討が必要である。
担当課評価	A	教室参加者は増加傾向にあり、多くの就学前の幼児に対し、多様な運動を経験できる機会を設けているため。

【スポーツ振興課】

NO.	1-(1)-①-2	
取組	①幼児の体力向上	
事業名	2 幼児水泳教室	
事業の概要	自由に身体を動かすにくい水中で幼児が身体の動かし方を学び、成長できる水泳教室を実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	幼児水泳教室を実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(1) 子供の体力向上】

N0.	1-(1)-①-3	
取組	①幼児の体力向上	
事業名	3 幼児がのびのびと運動できる場所の整備	
事業の概要	区立施設等を活用することで、就学前の幼児が親と気軽に安心してボール遊び等、のびのび運動ができる場所の整備を検討する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	のびのび運動ができる場所の整備を実施する。
	事業実績	のびのび運動ができる場所の整備を実施
	事業の成果	毎週土曜日午前中にたなかスポーツプラザグラウンドを無料開放し、幼児が親と一緒に運動ができる場所を提供した。
	事業の課題	身近な公共施設である学校の活用について検討が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより学校開放事業が休止していたこともあり、身近な公共施設である学校の活用ができなかったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(1)-①-4	
取組	①幼児の体力向上	
事業名	4 幼児の体力向上指導	
事業の概要	下記のとおりスポーツ指導専門員を派遣する。 区立園 23園（幼稚園10園、保育園位置10園、こども園3園）	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	下記のとおりスポーツ指導専門員を派遣した。 区立園 23園 162回
	事業実績	下記のとおりスポーツ指導専門員を派遣した。 区立園 23園 162回
	事業の成果	区立園23園において、スポーツ専門指導員の派遣計画に基づき事業を実施することにより幼児の基礎体力向上に寄与している。
	事業の課題	職員の指導力向上を図るための取組みを充実することが必要である。
担当課評価	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施回数は減っているが、区立園23園において事業を実施したため。

【教育支援館】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(1) 子供の体力向上】

N0.	1-(1)-①-5	
取組	①幼児の体力向上	
事業名	5 幼児の体力向上支援	
事業の概要	幼児の基礎体力向上と教職員の指導力の向上を図るため、私立幼稚園・保育園・こども園における幼児の体力向上に関する取り組みを支援し、運動習慣の定着を図る。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	私立幼稚園・保育園・こども園に対する支援を実施
	事業実績	実施園：私立幼稚園7園、私立保育園24園、私立こども園1園
	事業の成果	各園で実施する体力向上事業を行ったことで、子供の健全な成長につながった。
	事業の課題	引き続き未就学児に対する運動習慣の定着を図る必要がある。
担当課評価	A	感染症対策を講じながら事業を実施したため。

【庶務課・学務課・児童保育課】

N0.	1-(1)-②-7	
取組	①幼児の体力向上	
事業名	7小・中学生の体力向上	
事業の概要	区内の小・中学校において、引き続きスポーツ時間を十分確保しながら、個別の体力状況を分析した指導や、コーディネーショントレーニング(※)の要素を活用することで、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における体力合計点の向上を目指します。 ※コーディネーショントレーニング…スポーツに係わる複数の能力を調整するトレーニング	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	全小・中学校において、体力・運動能力、運動習慣等調査の実施
	事業実績	新型コロナウイルス感染症対策により、調査を中止とした。
	事業の成果	調査中止のため、無し。
	事業の課題	調査中止のため、無し
担当課評価	C	調査を中止し、未実施のため。

【指導課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(1) 子供の体力向上】

N0.	1-(1)-②-8	
取組	②児童・生徒の体力向上	
事業名	8ジュニア駅伝大会	
事業の概要	児童・生徒が日頃のスポーツの成果を発揮するとともに、ジュニア層のスポーツ振興を図るため、区内在住・在学の小学4年生～6年生、中学生を対象としたジュニア駅伝大会を開催する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりジュニア駅伝大会を開催する。 参加者 650人
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(1)-②-9	
取組	②児童・生徒の体力向上	
事業名	9わんぱくトライアスロン	
事業の概要	児童・生徒が日頃のスポーツの成果を発揮するとともに、自己への挑戦を通じて努力や思いやりを学ぶことができるトライアスロン大会の実施を、会場となる台東リバーサイドスポーツセンターの指定管理者と連携して支援する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	わんぱくトライアスロンを実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(1) 子供の体力向上】

N0.	1-(1)-②-10	
取組	②児童・生徒の体力向上	
事業名	10台東リバーサイドスポーツセンター 小・中学生開放	
事業の概要	児童・生徒に向けて自主的にスポーツに親しむ機会を提供するため、台東リバーサイドスポーツセンター内の施設を開放するとともに、各競技の指導員を配置し、指導を行う。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり台東リバーサイドスポーツセンターにて小・中学生開放を実施する。 参加者 11,000人
	事業実績	下記のとおり台東リバーサイドスポーツセンターにて小・中学生開放を実施 参加者 577人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の閉館等により、参加者が目標を大幅に下回ることとなった。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍での事業実施方法等について検討が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる施設の休館等により、参加者が目標を大幅に下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(1)-②-11	
取組	②児童・生徒の体力向上	
事業名	11ジュニア育成推進	
事業の概要	区内の児童・生徒のスポーツ振興のため、初心者から上級者まで様々な目的に応じた教室、大会事業等の実施や、児童・生徒の指導者に向けた講習会を台東区体育協会と連携して行う。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	ジュニア育成推進事業（教室、大会等）を実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標 1 生涯スポーツ社会の実現】

【(1) 子供の体力向上】

N0.	1-(1)-②-12	
取 組	②児童・生徒の体力向上	
事 業 名	1 2 小学校連合運動会	
事業の概要	連合運動会を通じて団体行動を養うとともに運動能力や運動技能の向上を促し、体力の向上につなげていくため、区立小学校6年生対象の連合運動会を実施します。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	実 施
	事業実績	未実施（1学期の学校開始が遅れたことにより、授業時間を確保する必要があるため練習時間の確保が困難であること。練習不足のまま大会を実施することで児童が怪我をする可能性が高まること。多くの児童や保護者等が参集することにより密集状態となる可能性が高いこと。等による中止。）
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	上記理由により未実施のため

【学務課】

N0.	1-(1)-②-13	
取 組	②児童・生徒の体力向上	
事 業 名	1 3 中学校連合陸上競技大会	
事業の概要	連合陸上競技大会を通じて団体行動を養うとともに運動能力や運動技能の向上を促し、体力の向上につなげていくため、区立中学校等の選抜選手を対象に、連合陸上競技大会を実施します。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	実 施
	事業実績	未実施（1学期の学校開始が遅れたことにより、授業時間を確保する必要があるため練習時間の確保が困難であること。練習不足のまま大会を実施することで生徒が怪我をする可能性が高まること。多くの生徒や保護者等が参集することにより密集状態となる可能性が高いこと。等による中止。）
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	上記理由により未実施のため

【学務課】

N0.	1-(1)-②-14	
取組	②児童・生徒の体力向上	
事業名	14 専門的指導員の活用	
事業の概要	生徒の競技力向上を図るため、専門的知識・技術を有する外部の実技指導員を活用し、区内の部活動における指導の効果を高めます。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	区立中学校（全7校）に指導員を配置する。
	事業実績	区立中学校（全7校）に指導員を配置した。
	事業の成果	専門的知識・技術を有する指導員を配置することで生徒の実技指導の向上に繋がった。
	事業の課題	<p>①継続的な効果検証 指導時間に対して、生徒への実技指導効果等を継続的かつ総合的に検証していく必要がある。</p> <p>②人材の確保 現在、学校が主体となり顧問の知人や地域関係者等に依頼しているが、専門的知識・技術を有する人材を探す学校の負担が大きくなることが考えられる。</p>
担当課評価	A	区立中学校（全7校）に指導員を配置した。

【庶務課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
 【(2) 高齢者が健康に暮らせるスポーツ施策の充実】

N0.	1-(2)-①-16	
取組	①地域のつながりの強化	
事業名	16シニアスポーツ振興	
事業の概要	高齢者のスポーツ振興のため、初心者でも参加できる教室事業等を台東区体育協会と連携して行い、高齢者の健康維持・増進を図る。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	シニアスポーツ振興事業(教室事業等)を実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(3) 働き盛り・子育て世代への支援】

N0.	1-(3)-①-26	
取組	①気軽にスポーツに触れる機会の創出	
事業名	26 アスリートから学ぶLet's Enjoy スポーツ	
事業の概要	トップアスリートの本物の迫力を間近で観てもらい、スポーツの素晴らしさを感じてもらおうとともに、オリンピック・パラリンピック種目の競技を体験できる機会を提供する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり東京2020大会機運醸成イベントを開催する。 参加者 1,000人
	事業実績	東京2020大会延期及び新型コロナウイルスにより延期
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が延期となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(3)-①-27	
取組	①気軽にスポーツに触れる機会の創出	
事業名	27 体力診断テストの実施	
事業の概要	自分の体力がどのレベルにあるか把握してもらい、スポーツ実施や健康管理に役立ててもらうため、区内のスポーツ施設等で体力診断テストを実施する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり体力診断テストを実施する。 実施回数 2回
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(3) 働き盛り・子育て世代への支援】

N0.	1-(3)-①-28	
取組	①気軽にスポーツに触れる機会の創出	
事業名	28ニュースポーツの普及推進	
事業の概要	気軽にスポーツに触れる機会を提供するため、年齢や体力に関わらず、また難しい技術を必要とせずに気軽に取り組めるニュースポーツ教室をスポーツひろば等で実施する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおりニュースポーツ教室を実施する。 参加者 1,500人
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(3)-②-29	
取組	②親子で参加できるスポーツ事業の実施	
事業名	29親子水泳教室	
事業の概要	子供が身体の動かし方全般を覚えながら、親も一緒に身体を動かすプログラムを取り入れた水泳教室の実施を支援し、子育て中の親が、子供と一緒に身体を動かす機会を提供する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり親子水泳教室を実施する。 参加者 250人
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(3) 働き盛り・子育て世代への支援】

N0.	1-(3)-②-30	
取組	②親子で参加できるスポーツ事業の実施	
事業名	30親子参加型スポーツ教室	
事業の概要	親子と一緒に気軽に楽しめるスポーツを通じて、子育て世代へのスポーツの習慣化を推進する。また、自宅でも気軽に反復できるプログラムを提供し、親子のコミュニケーションの増加や子供の基礎体力の向上を図る。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	親子参加型スポーツ教室を実施する。
	事業実績	親子参加型スポーツ教室を実施
	事業の成果	台東リバーサイドスポーツセンターにて親子運動教室を実施し、親子のコミュニケーションの増加や子供の基礎体力の向上を図ることができた。
	事業の課題	コロナ禍でのスポーツ教室の実施方法等とあわせ、より多くの親子が参加できるプログラムの検討が必要である。
担当課評価	A	親子参加型スポーツ教室を実施し、親子のコミュニケーションの増加や子供の基礎体力の向上を図ることができたため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(3)-②-31	
取組	②親子で参加できるスポーツ事業の実施	
事業名	31親子の時間	
事業の概要	区立スポーツ施設のプールにおいて親子が利用する専用の時間を設け、スポーツを通じてコミュニケーションを図るとともに、継続的にスポーツを行う機会を提供する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	区立スポーツ施設のプールにて親子の時間を実施する。
	事業実績	区立スポーツ施設のプールにて親子の時間を実施
	事業の成果	清島温水プール及び柳北スポーツプラザプールにおいて、親子が利用する専用の時間を設け、親子のコミュニケーションの増加や継続的にスポーツを行う機会を提供することができた。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	A	区立スポーツ施設のプールにおいて、親子が利用する専用の時間を設け、親子のコミュニケーションの増加や継続的にスポーツを行う機会を提供することができたため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(4) 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-(4)-①-32	
取組	①正しいラジオ体操の普及・推進	
事業名	32正しいラジオ体操の指導	
事業の概要	台東区フィジカルプロデューサーを活用し、夏季ラジオ体操会地区大会や体育の日記念行事での準備体操等で正しいラジオ体操の指導を行う。また、学校教育においても、正しいラジオ体操を指導する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	正しいラジオ体操の指導を実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課・指導課】

N0.	1-(4)-①-33	
取組	①正しいラジオ体操の普及・推進	
事業名	33ラジオ体操指導者講習会	
事業の概要	正しいラジオ体操の指導者を育成するための講習会を開催する。また、指導者を各ラジオ体操会場に配置することにより、正しいラジオ体操を普及する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりラジオ体操指導者講習会を実施する。 参加者 150人
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-①-34	
取組	①正しいラジオ体操の普及・推進	
事業名	34夏期ラジオ体操会地区大会の開催	
事業の概要	台東区フィジカルプロデューサーを講師に招き、7月下旬から8月上旬にかけて、区内11地区毎にラジオ体操の合同大会を実施し、区民の健康増進や、地域交流の促進を図る。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり夏季ラジオ体操会地区大会を開催する。 地区大会会場 11箇所
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-①-35	
取組	①正しいラジオ体操の普及・推進	
事業名	35ラジオ体操会の開催支援	
事業の概要	台東区ラジオ体操連盟が日々継続的に、地域に根差した会場で実施している夏季ラジオ体操会や年中無休会場でのラジオ体操について、広報活動等を支援することにより、誰でも気軽にラジオ体操を行えるよう支援する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりラジオ体操会の開催を支援する。 夏季ラジオ体操会会場 142箇所
	事業実績	下記のとおりラジオ体操会の開催を支援 夏季ラジオ体操会会場 33箇所
	事業の成果	新型コロナウイルスにより会場数が大幅に減少となった。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍での開催方法について、台東区ラジオ体操連盟との連携が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより会場数が大幅に減少となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(4) 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-(4)-②-36	
取組	②スポーツを始めるきっかけづくり	
事業名	36台東区フィジカルプロデューサーの活用	
事業の概要	運動能力の基礎となる正しい動作を身につけてもらうため、台東区教育委員会が任命した台東区フィジカルプロデューサーを活用し、安全・安心にスポーツを楽しめるよう、スポーツをする上で欠かせない体操など準備運動に関する知識・方法を普及するとともに、けがの防止を図る。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	台東区フィジカルプロデューサーを活用する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-②-37	
取組	②スポーツを始めるきっかけづくり	
事業名	37初心者スポーツ教室	
事業の概要	区民が気軽にスポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、台東リバーサイドスポーツセンターやスポーツひろばで初心者スポーツ教室を実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり初心者スポーツ教室を実施する。 台東リバーサイドスポーツセンター参加者 1,450人 スポーツひろば参加者 300人
	事業実績	下記のとおり初心者スポーツ教室を実施 台東リバーサイドスポーツセンター参加者 47人 スポーツひろば参加者 中止
	事業の成果	新型コロナウイルスによる規模縮小・中止により、参加者が目標数を大幅に下回った。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍での教室実施方法について検討が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる規模縮小・中止により、参加者が目標数を大幅に下回ったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(4) 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-(4)-②-38	
取組	②スポーツを始めるきっかけづくり	
事業名	38チャレンジスポーツ教室	
事業の概要	スポーツが苦手な子供たちがスポーツに対する「苦手意識」を克服し、スポーツの楽しさを感じてもらい教室を開催し、継続してスポーツに親しむことができるきっかけを作る。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	チャレンジスポーツ教室を実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-②-39	
取組	②スポーツを始めるきっかけづくり	
事業名	39台東リバーサイドスポーツセンター 一般開放	
事業の概要	区民が気軽にスポーツを継続できるきっかけとなるよう、台東リバーサイドスポーツセンターで個人利用ができる開放事業を実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり台東リバーサイドスポーツセンターにて一般開放事業を実施する。 参加者 180,000人
	事業実績	下記のとおり台東リバーサイドスポーツセンターにて一般開放事業を実施 参加者 52,914人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の閉館等により、参加者が目標数を大幅に下回った。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍での事業実施方法について検討が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる施設の休館等により、参加者が目標数を大幅に下回ったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(4) 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-(4)-②-40	
取組	②スポーツを始めるきっかけづくり	
事業名	40 体育の日記念行事の開催	
事業の概要	区民にスポーツへの関心を持ってもらうため、体育の日に様々なスポーツが体験できるよう、区立スポーツ施設無料開放、ワンポイントレッスン、体カテスト等を実施する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり体育の日記念行事を開催する。 参加者 1,800人
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-②	
取組	②スポーツを始めるきっかけづくり	
事業名	アスリートから学ぶLet's Enjoy スポーツ【再掲事業26】	
事業の概要	トップアスリートの本物の迫力を間近で観てもらい、スポーツの素晴らしさを感じてもらうとともに、オリンピック・パラリンピック種目の競技を体験できる機会を提供する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり東京2020大会機運醸成イベントを開催する。 参加者 1,000人
	事業実績	東京2020大会延期及び新型コロナウイルスにより延期
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が延期となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(4) 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-(4)-③-42	
取組	③誰でも参加できる教室事業	
事業名	42生涯学習センタートレーニングルームレッスン	
事業の概要	生涯学習センター内トレーニングルームで、トレーナーによるエアロビクスやストレッチ等のレッスンを実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり生涯学習センタートレーニングルームレッスンを実施する。 参加者 6,000人
	事業実績	下記のとおり生涯学習センタートレーニングルームレッスンを実施 参加者 307人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の閉館に伴い、参加者が目標数を大幅に下回った。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍でのレッスン実施方法について検討が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる施設の休館等により、参加者が目標数を大幅に下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-③-43	
取組	③誰でも参加できる教室事業	
事業名	43都立浅草高等学校温水プール区民開放水泳教室	
事業の概要	都立浅草高等学校温水プールで、初心者にもつた水泳教室や小・中学生の水泳特訓教室など水泳教室を実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり都立浅草高等学校温水プール区民開放水泳教室を実施する。 参加者 180人
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(4) 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-(4)-③-44	
取組	③誰でも参加できる教室事業	
事業名	44 清島温水プール水泳教室	
事業の概要	清島温水プールにおいて、幼児から高齢者、障害のある方等様々な方を対象とした水泳教室、その他ウォーターエクササイズ等を実施し、継続したスポーツ実施の機会を提供する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	清島温水プール水泳教室を実施する。 参加者 1,600人
	事業実績	清島温水プール水泳教室の実施 参加者 856人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休館に伴い、規模を縮小したことにより、参加者が目標人数を大幅に下回った。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍での教室実施方法について検討が必要である。
担当課評価	B	新型コロナウイルスによる施設の休館に伴い、規模を縮小したことにより、目標の半数以上の達成であったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-③-45	
取組	③誰でも参加できる教室事業	
事業名	45 台東リバーサイドスポーツセンター スポーツ教室	
事業の概要	台東リバーサイドスポーツセンターにおいて、指定管理者が行う各種のスポーツ教室の開催を支援する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	台東リバーサイドスポーツセンター スポーツ教室の開催を支援する。
	事業実績	台東リバーサイドスポーツセンター スポーツ教室の開催を支援
	事業の成果	区事業の情報提供や新型コロナウイルス対策の協議を行うなど、スポーツ教室の開催を支援した。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍での教室実施方法について、指定管理者との協議が必要である。
担当課評価	A	区事業の情報提供や新型コロナウイルス対策の協議を行うなど、スポーツ教室の開催を支援したため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【(4) 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-(4)-④-46	
取組	④区民が活躍する大会事業	
事業名	46都市スポーツ交流会	
事業の概要	姉妹区である墨田区との親善・スポーツ交流事業や、文京区・北区・荒川区との広域間でのスポーツ交流事業を実施し、区を超えた区民の交流や体力・競技力向上を図る。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	都市スポーツ交流会を実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-④-47	
取組	④区民が活躍する大会事業	
事業名	47区民体育祭の開催	
事業の概要	区民がスポーツを楽しみながら交流の輪を広げ、体力・健康増進を図り、日頃の練習の成果を発揮する場として、区民体育祭を実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり区民体育祭を開催する。 参加者 9,000人
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(4)-④-48	
取組	④区民が活躍する大会事業	
事業名	48都民体育大会等への代表選手派遣	
事業の概要	代表選手の選考予選会を実施し、都民体育大会（春季、夏季、冬季3大会）や、都民ハゼ釣り・鮎釣り大会、都民生涯スポーツ・都民スポレクふれあい大会に区の代表選手を派遣する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	都民大会等への代表選手派遣を行う。
	事業実績	新型コロナウイルスにより規模を縮小して実施
	事業の成果	都民体育大会は中止となったが、都民生涯スポーツ・都民スポレクふれあい大会の開催された競技種目については、代表選手を派遣することができた。
	事業の課題	コロナ禍において、各種競技大会が中止となる中での代表選手選考が課題である。
担当課評価	A	開催された各種大会において、代表選手を派遣することができたため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
【(5) スポーツを支えあうひとのつながり】

N0.	1-(5)-①-49	
取組	①ボランティアの育成	
事業名	49スポーツボランティアを育む	
事業の概要	スポーツボランティアを育成するために、必要な知識を習得できる講習会を開催する。また、ボランティアの登録制度により、区内外のスポーツイベントの情報提供を行い、スポーツボランティアとして活躍できる場を提供する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりスポーツボランティアへの登録を目指す。 登録者 130人
	事業実績	下記のとおりスポーツボランティアに登録 登録者 145人
	事業の成果	新型コロナウイルスにより講習会は中止となったが、ホームページ等により本事業の周知を図り、登録者が目標数を超えることができた。
	事業の課題	スポーツボランティア登録者の活躍の場を増やすため、ボランティア連携区との繋がりを強め、さらなるイベント情報の発信に努めていくことが必要である。
担当課評価	A	東京2020大会を契機に、スポーツを支えるボランティアの重要性が高まっており、スポーツボランティア登録者数は着実に増加しているため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(5)-①-50	
取組	①ボランティアの育成	
事業名	50東京マラソンボランティア参加支援	
事業の概要	台東区体育協会をはじめとした地域スポーツ団体やスポーツボランティアと連携し、大会が安全かつ円滑に運営できるよう東京マラソンへのボランティア参加を支援する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	東京マラソンへのボランティア参加を支援する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより延期
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより延期となったため

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
【(5) スポーツを支えあうひとのつながり】

N0.	1-(5)-①-51	
取組	①ボランティアの育成	
事業名	51 学習支援ボランティア	
事業の概要	自らの持つ知識、経験、技能等を、スポーツを含む区民の生涯学習講座に役立てたいと考えている方をボランティアとして登録・紹介することにより、区民同士が教え学びあう仕組みを作ります。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	学習支援ボランティアの新たな登録と活用を推進するため、事業のPR及びボランティアによる講座等を実施する。
	事業実績	登録数 個人50人、団体4団体 講座数 5件
	事業の成果	学習支援ボランティアによる講座の実施により、学習支援ボランティアの活動を継続的に行うことができた。
	事業の課題	新型コロナウイルスの影響もあり、講座数が減少しているため、コロナ禍における活動を模索する必要がある。
担当課評価	A	コロナ禍ではあるが、学習支援ボランティア事業を継続して実施しているため。

【生涯学習課】

N0.	1-(5)-②-52	
取組	②スポーツを行う団体との連携	
事業名	52 総合型地域スポーツクラブ支援	
事業の概要	多くの区民が気軽に参加できる日常的なスポーツの機会を提供するため、地域住民の自主的な運営により活動を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、啓発や活動場所の提供等を通じて支援する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	総合型地域スポーツクラブを支援する。
	事業実績	総合型地域スポーツクラブ支援を実施
	事業の成果	新型コロナウイルスにより休止している期間もあったが、啓発や活動場所の提供などを通じて、会員の健康保持増進を図るとともに、地域に根差したスポーツ環境づくり及び活力に満ちた地域の形成に寄与することができた。
	事業の課題	新型コロナウイルスにより長期間休止となったことに伴い会員数が減少してしまったため、会員数を回復させクラブの運営を安定させることが必要である。
担当課評価	A	支援を通じて、総合型地域スポーツクラブの普及に寄与することができたため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
 【(5) スポーツを支えあうひとのつながり】

N0.	1-(5)-②-53	
取組	②スポーツを行う団体との連携	
事業名	53生涯スポーツ関係協議会支援	
事業の概要	台東区体育協会・台東区スポーツ推進委員協議会・台東区スポーツ少年団・台東区ラジオ体操連盟の4団体で構成される台東区生涯スポーツ関係協議会に、区民のスポーツに関する情報共有の場の提供等の支援を行い、地域スポーツ団体と一体となりスポーツを振興する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	生涯スポーツ関係協議会を支援する。
	事業実績	生涯スポーツ関係協議会支援を実施
	事業の成果	関係4団体に対し、区民のスポーツに関する情報共有の場の提供等の支援を行い、地域スポーツ団体と一体となりスポーツ振興を図ることができた。
	事業の課題	コロナ禍でのスポーツ振興について、関係4団体と意見交換をしていく必要がある。
担当課評価	A	関係4団体が活動を円滑に進めるための支援を実施しているため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(5)-②-54	
取組	②スポーツを行う団体との連携	
事業名	54体育団体助成	
事業の概要	台東区体育協会をはじめとした区民の生涯スポーツの普及、振興に寄与する地域スポーツ団体に助成を行い、更なる生涯スポーツの実施を促進する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり体育団体への助成を実施する。 助成団体 3団体
	事業実績	下記のとおり体育団体への助成を実施 助成団体 1団体
	事業の成果	台東区社会教育関係団体事業補助金交付要綱に基づき、台東区体育協会に対し助成を行い、更なる生涯スポーツの実施を促進した。
	事業の課題	助成団体に対し、引き続き更なる生涯スポーツの実施を促進していく必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより補助対象事業を中止とした、台東区スポーツ少年団・台東区釣魚連盟に対し、助成を行わなかったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
 【(5) スポーツを支えあうひとのつながり】

N0.	1-(5)-②-55	
取組	②スポーツを行う団体との連携	
事業名	55スポーツ推進委員協議会支援	
事業の概要	区民のスポーツ振興のため、コーディネーターとしてスポーツ推進委員を委嘱し、様々なスポーツ教室事業等を企画・実施する。また研修等を通じ、スポーツ推進委員の資質向上を図る。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりスポーツ推進委員協議会支援を実施する。 教室等実施 70回
	事業実績	下記のとおりスポーツ推進委員協議会支援を実施 教室等実施 4回
	事業の成果	新型コロナウイルスによる学校開放休止に伴い、スポーツひろばスポーツ推進委員運営校の規模を縮小することとなった。
	事業の課題	コロナ禍における「新しい生活様式」下でのスポーツ振興について、スポーツ推進委員協議会と協議していく必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより、教室等の実施回数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(5)-②-58	
取組	②スポーツを行う団体との連携	
事業名	58社会教育団体登録・育成	
事業の概要	区民が関心のあるスポーツやレクリエーションを含む学習活動について、自主的・自立的に活動されるよう、支援・育成を行います。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり社会教育団体の活動を支援する。 社会教育関係団体登録、相談受付、入会希望者への情報提供
	事業実績	下記のとおり社会教育団体の活動を支援 社会教育関係団体登録、相談受付、入会希望者への情報提供
	事業の成果	団体登録、団体からの個別相談等により社会教育関係団体の円滑な活動につなげることができた。
	事業の課題	新型コロナウイルスの感染防止を徹底しつつ、各団体が継続的に円滑な活動を進められるよう、相談対応を行い、適切な助言・指導を行う必要がある。
担当課評価	A	団体活動を円滑に進めるための支援を実施しているため。

【生涯学習課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
 【(5) スポーツを支えあうひとのつながり】

N0.	1-(5)-③-59	
取組	③スポーツを支える指導者の育成	
事業名	59スポーツひろば指導員育成	
事業の概要	地域で気軽にスポーツが行える場として区立小・中学校等で実施しているスポーツひろばに派遣している指導員を対象とする講習会等を実施し、指導員の資質向上を図る。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりスポーツひろば指導員を対象とした講習会等を実施する。 講習会 1回
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	1-(5)-③	
取組	③スポーツを支える指導者の育成	
事業名	初級障がい者スポーツ指導員養成【再掲事業105】	
事業の概要	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催し、障害のある方のスポーツを支える人材を養成するとともに、区内や近隣区の障害者スポーツイベントで活躍する機会をつくり、地域における障害者スポーツを推進する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を実施する。
	事業実績	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を実施
	事業の成果	4区（文京区・台東区・北区・荒川区）合同（幹事持ち回り）で講習会を実施し、障害者スポーツを支える人材を育成することができた。
	事業の課題	事業内容を広く周知しより多くの参加者を募るとともに、受講者が活躍する機会を提供していく必要がある。
担当課評価	A	障害者スポーツを支える人材を育成するとともに、障害者スポーツに関する理解を深める機会として、講習会を継続して実施しているため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
 【(5) スポーツを支えあうひとのつながり】

N0.	1-(5)-③	
取組	③スポーツを支える指導者の育成	
事業名	障害者水泳指導員の養成【再掲事業106】	
事業の概要	障害のある方を対象に水泳指導を適切に行うことができる指導員を養成するための講習会を開催し、区民が障害者スポーツの指導者として活躍できる機会を提供する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり講習会を実施する。 講習会 1回
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
【(6) スポーツに関する講座の開催・情報発信】

NO.	1-(6)-①-61	
取組	①スポーツへの理解を深める講座の開催	
事業名	61オリンピック・パラリンピック生涯学習講座	
事業の概要	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、大会を楽しむための知識の習得や歴史等を理解する講座を実施します。また、講座の開催により蓄積した情報を区内に発信し、大会の気運醸成につなげます。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の気運醸成を図る講座を実施する。 5講座
	事業実績	実施講座数 2講座 〔 受講者数 延53名 〕 〔 日数 延6日 〕
	事業の成果	オリンピック・パラリンピックの歴史やおもてなしといった講座を開催することができた。
	事業の課題	コロナ禍においても講座を開催できるような環境整備が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスの影響により、当初予定した講座数より講座数が減少したため。

【生涯学習課】

NO.	1-(6)-①-62	
取組	①スポーツへの理解を深める講座の開催	
事業名	62生涯学習ラーニングスクエア	
事業の概要	区民がスポーツを実施するきっかけとなるよう、スポーツへの理解を深めるための講座や体験教室などを含む多彩な講座を社会教育センター、社会教育館などで開催します。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	生活技術、伝統文化、音楽等の生涯学習の動機付けの機会となる講座を実施する。 53講座
	事業実績	実施講座数 11講座 〔 延受講者数 930人 〕 〔 延日数 92日 〕
	事業の成果	コロナ禍でも講座の実施により、生涯学習の機会を提供できた。また、終了後に自主サークルが誕生する講座もあり、学びを通じた交流が図られた。
	事業の課題	新型コロナウイルスの影響により、多くの講座が中止したため、コロナ禍における講座の実施を感染予防も含めて検討する必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスの影響により、当初予定した講座数より大幅に講座数が減少したため。

【生涯学習課】

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
【(6) スポーツに関する講座の開催・情報発信】

NO.	1-(6)-②-66	
取組	②スポーツ情報の発信	
事業名	66 スポーツ情報の発信	
事業の概要	広報たいとう、台東区公式ホームページ、台東ケーブルテレビ等を使って関連部署と連携を図りながら、区のスポーツ事業やランニング環境等のスポーツをする場に関する情報を積極的に提供します、また、障害者スポーツやボランティア等の支えるスポーツに関する情報を発信する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	スポーツ情報を発信する。
	事業実績	スポーツ情報の発信
	事業の成果	コロナ禍の中、必要となる区のスポーツ事業やスポーツに関する情報を、広報たいとうや台東区公式ホームページを活用し、積極的な提供を行った。
	事業の課題	関係スポーツ団体とも連携し、より積極的な情報提供を検討していく必要がある。
担当課評価	A	コロナ禍の中、必要となる区のスポーツ事業やスポーツに関する情報を、広報たいとうや台東区公式ホームページを活用し、積極的な提供を行ったため。

【スポーツ振興課】

NO.	1-(6)-②-67	
取組	②スポーツ情報の発信	
事業名	67 生涯学習情報の発信	
事業の概要	「台東区生涯学習ガイドブック」の発行等を行い、スポーツを含む生涯学習関連の施設、講座、行事、自主学习グループの紹介など、様々な学習情報を発信し、区民の生涯学習活動を支援します。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	ガイドブックを発行する。 年6,000部
	事業実績	令和元年度の下半期からガイドブックは、ホームページ掲載に移行したため、紙媒体での発行はない。
	事業の成果	ホームページ上にて講座・イベント情報と団体情報、会場の情報について、適宜、最新の情報を提供することができた。
	事業の課題	幅広く情報を収集し、正しい情報を提供する必要がある。
担当課評価	B	紙媒体での発行は行わなかったが、ホームページ上にて情報を提供し、随時更新を行い、最新の情報の提供を行っているため。

【生涯学習課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
 【(1) 台東リバーサイドスポーツセンター屋外施設の整備】

N0.	2-(1)-①-68	
取組	①陸上競技場の改築及び庭球場等周辺環境の整備	
事業名	68台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改築及び庭球場等周辺環境の整備	
事業の概要	陸上競技場の改築をはじめ、庭球場や駐車場等を含めた施設整備に向けての基礎調査を実施し、魅力ある屋外スポーツ施設整備に取り組む。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改築及び庭球場等周辺環境の整備を実施する。
	事業実績	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改築及び庭球場等周辺環境の整備を実施
	事業の成果	陸上競技場の施設整備に向け、東京都と協議を行いながら、大規模改修基本計画を策定し、魅力ある屋外スポーツ施設整備への取り組みを推進できた。
	事業の課題	新型コロナウイルスにより、大規模改修工事の実施時期を調整する必要がある。
担当課評価	A	基本計画策定を実施し、引き続き環境整備を実施していく。

【スポーツ振興課】

N0.	2-(1)-②-69	
取組	②野球場の老朽化対策	
事業名	69台東リバーサイドスポーツセンター野球場人工芝張替	
事業の概要	野球場を快適に利用できるように、人工芝の全面張替を実施し、グラウンドの老朽化を改善する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	完了（平成29年度）
	事業実績	—
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	A	事業完了しているため。

【スポーツ振興課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
【(2) バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進】

N0.	2-(2)-①-71	
取組	①建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
事業名	71 台東リバーサイドスポーツセンター	
事業の概要	陸上競技場におけるエレベーターや点字ブロックの設置等をはじめとし、台東リバーサイドスポーツセンター各施設における更なるバリアフリー化や、ユニバーサルデザインに基づいた整備を促進する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	台東リバーサイドスポーツセンターにおいてバリアフリー化や、ユニバーサルデザインに基づいた整備を促進する。
	事業実績	台東リバーサイドスポーツセンターにおいてバリアフリー化や、ユニバーサルデザインに基づいた整備を促進
	事業の成果	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場大規模改修基本計画で、エレベーター設置などユニバーサルデザインに基づいた計画を策定した。
	事業の課題	新型コロナウイルスにより、大規模改修工事の実施時期を調整する必要がある。
担当課評価	A	施設のバリアフリー化を実施し、引き続きバリアフリー化を促進していく。

【スポーツ振興課】

N0.	2-(2)-①-72	
取組	①建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
事業名	72 柳北スポーツプラザ	
事業の概要	段差の色分けや滑り止めの設置等、施設のバリアフリー化への取り組みを行い、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが気軽に利用できるスポーツ施設を目指す。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	柳北スポーツプラザにおいて施設のバリアフリーへの取り組みを実施する。
	事業実績	柳北スポーツプラザにおいて施設のバリアフリーへの取り組みを実施
	事業の成果	トイレへの手すり設置やスロープ床面の滑り止め加工を行い、利用しやすいスポーツ施設への取り組みを推進できた。
	事業の課題	引き続きバリアフリー化への取り組みを継続する必要がある。
担当課評価	A	施設のバリアフリー化を実施し、引き続きバリアフリー化を実施していく。

【スポーツ振興課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
 【(2) バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進】

N0.	2-(2)-②-73	
取組	②心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
事業名	73区立スポーツ施設職員の教育	
事業の概要	区立スポーツ施設に、障害者スポーツに関する知識や支援技術を持つ職員の配置を検討し、障害の有無に関わらず、誰もが安全・安心に楽しく利用できるスポーツ施設を目指す。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	区立スポーツ施設職員の教育を実施する。
	事業実績	区立スポーツ施設職員の教育を実施
	事業の成果	障がい者スポーツ指導員養成講習会をはじめとする各種講習会の情報提供を行った。
	事業の課題	障がい者スポーツ指導員養成講習会をはじめとする各種講習会に積極的に参加するよう、働きかける必要がある。
担当課評価	A	区立スポーツ施設に公益財団法人日本障害者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員の有資格者を配置しており、併せて各種講習会の情報提供を行ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	2-(2)-②	
取組	②心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
事業名	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座【再掲事業61】	
事業の概要	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、大会を楽しむための知識の習得や歴史等を理解する講座を実施します。また、講座の開催により蓄積した情報を区内に発信し、大会の気運醸成につなげます。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の気運醸成を図る講座を実施する。 5講座
	事業実績	実施講座数 2講座 〔 受講者数 延53名 〕 〔 日数 延6日 〕
	事業の成果	オリンピック・パラリンピックの歴史やおもてなしといった講座を開催することができた。
	事業の課題	コロナ禍においても講座を開催できるような環境整備が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスの影響により、当初予定した講座数より講座数が減少したため。

【生涯学習課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
 【(2) バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進】

N0.	2-(2)-②	
取組	②心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
事業名	区立小・中学校での障害者スポーツ教育【再掲事業107】	
事業の概要	パラリンピック競技（歴史、意義、人物、競技種目等）について学習するとともに、障害者スポーツの体験や競技者・指導者等との交流を通じ、障害のある方への理解を進める教育を充実させ、多様性を尊重し、共に助け合い、支え合って生きていく児童・生徒を育成します。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	区立全小・中学校で実施
	事業実績	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、区立全小・中学校において、パラリンピック教育を実施
	事業の成果	障害者スポーツについての理解を深めるとともに、児童・生徒の発達段階に合わせ、障害のある方への理解を深めさせることができた。
	事業の課題	新型コロナウイルス感染症対策のため、外部講師を招いての体験学習の中止を余儀なくされた学校があった。座学の充実だけではなく、体験活動の充実を図っていくことが課題である。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症対策のため、外部講師を招いての体験学習の中止を余儀なくされた学校があったため。

【指導課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
【(3) 快適に利用できるスポーツ施設の運営】

N0.	2-(3)-①-74	
取組	①スポーツ施設の管理運営	
事業名	74台東リバーサイドスポーツセンター	
事業の概要	陸上競技場の改築をはじめとする屋外施設の整備を計画していることから、工事期間中は円滑な施設運営が図れるよう、公益財団法人台東区芸術文化財団の過去の大規模改修時の管理・運営経験を活かしていく。また、施設運営にあたっては、個人開放やスポーツ教室を実施するなど、区民の多様なスポーツ活動の場である総合スポーツ施設として、体育館、陸上競技場などの運営を行う。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	下記のとおり台東リバーサイドスポーツセンターの運営を実施する。 利用者 475,000人
	事業実績	下記のとおり台東リバーサイドスポーツセンターの運営を実施 利用者 167,641人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休館に伴い、利用者は目標を下回ったが、適切な施設の管理運営を行い、区民の多様なスポーツ活動の場を提供することができた。
	事業の課題	コロナ禍の中、ガイドライン等に基づいた適切な施設の管理運営を行いながら、施設利用者の確保に努める必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる施設の休館により、施設利用者数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	2-(3)-①-75	
取組	①スポーツ施設の管理運営	
事業名	75清島温水プール	
事業の概要	台東区内で唯一の通年型の室内温水プールとして、区民が日常的に水泳に親しめるよう施設を運営するとともに、老朽化する設備の計画的な保守を行う。また、水泳を始めるきっかけづくりのため、各種教室を行う。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	下記のとおり清島温水プールの運営を実施する。 利用者 71,000人
	事業実績	下記のとおり清島温水プールの運営を実施 利用者 31,778人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休館に伴い、利用者は目標を下回ったが、適切な施設の管理運営を行い、区民が日常的に水泳に親しめる場を提供することができた。
	事業の課題	コロナ禍の中、ガイドライン等に基づいた適切な施設の管理運営を行いながら、施設利用者の確保に努める必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる施設の休館により、施設利用者数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
【(3) 快適に利用できるスポーツ施設の運営】

N0.	2-(3)-①-76	
取組	①スポーツ施設の管理運営	
事業名	76柳北スポーツプラザ	
事業の概要	台東区南部地域に密着した地域スポーツ施設である柳北スポーツプラザの体育館やテニスコート、プール（夏期）を貸し出し施設として運営する。また、老朽化する設備の計画的な整備を行う。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり柳北スポーツプラザの運営を実施する。 利用者 27,000人
	事業実績	下記のとおり柳北スポーツプラザの運営を実施 利用者 10,295人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休館に伴い、利用者は目標を下回ったが、適切な施設の管理運営を行い、区民のスポーツ活動の場を提供することができた。
	事業の課題	コロナ禍の中、ガイドライン等に基づいた適切な施設の管理運営を行いながら、施設利用者の確保に努める必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる施設の休館により、施設利用者数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	2-(3)-①-77	
取組	①スポーツ施設の管理運営	
事業名	77たなかスポーツプラザ	
事業の概要	台東区北部地域に密着した地域スポーツ施設であるたなかスポーツプラザの体育館や、グラウンド等を貸し出し施設として運営する。また、グラウンドを無料開放し、キャッチボール等ができる場所の提供を行う。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりたなかスポーツプラザの運営を実施する。 利用者 35,000人
	事業実績	下記のとおりたなかスポーツプラザの運営を実施 利用者 21,822人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休館に伴い、利用者は目標を下回ったが、適切な施設の管理運営を行い、区民のスポーツ活動の場を提供することができた。
	事業の課題	コロナ禍の中、ガイドライン等に基づいた適切な施設の管理運営を行いながら、施設利用者の確保に努める必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルスによる施設の休館により、施設利用者数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
【(3) 快適に利用できるスポーツ施設の運営】

N0.	2-(3)-①-78	
取組	①スポーツ施設の管理運営	
事業名	78生涯学習センタートレーニングルーム	
事業の概要	台東区生涯学習センターで有酸素マシン、トレーニングマシン、ストレッチスペースを設置したトレーニングルームを運営する。また、トレーナーによる指導やレッスンを実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり生涯学習センタートレーニングルームの運営を実施する。 利用者 35,000人
	事業実績	下記のとおり生涯学習センタートレーニングルームの運営を実施 利用者 8,064人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休館に伴い、利用者は目標を下回ったが、適切な施設の管理運営を行い、区民のスポーツ活動の場を提供することができた。
	事業の課題	コロナ禍の中、ガイドライン等に基づいた適切な施設の管理運営を行いながら、施設利用者の確保に努める必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる施設の休館により、施設利用者数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	2-(3)-①	
取組	①スポーツ施設の管理運営	
事業名	区立スポーツ施設職員の教育【再掲事業73】	
事業の概要	区立スポーツ施設に、障害者スポーツに関する知識や支援技術を持つ職員の配置を検討し、障害の有無に関わらず、誰もが安全・安心に楽しく利用できるスポーツ施設を目指す。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	区立スポーツ施設職員の教育を実施する。
	事業実績	区立スポーツ施設職員の教育を実施
	事業の成果	障がい者スポーツ指導員養成講習会をはじめとする各種講習会の情報提供を行った。
	事業の課題	障がい者スポーツ指導員養成講習会をはじめとする各種講習会に積極的に参加するよう、働きかける必要がある。
担当課評価	A	区立スポーツ施設に公益財団法人日本障害者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員の有資格者を配置しており、併せて各種講習会の情報提供を行ったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
【(3) 快適に利用できるスポーツ施設の運営】

N0.	2-(3)-②-79	
取組	②区外スポーツ施設の活用	
事業名	79 荒川河川敷運動公園運動場	
事業の概要	区民のスポーツ活動を行う場を充実するため、荒川河川敷を国土交通省から借り受け、野球場や、台東区立のスポーツ施設で唯一のサッカー場として区民に貸し出しする。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり荒川河川敷運動公園運動場の運営を実施する。 利用者 28,000人
	事業実績	下記のとおり荒川河川敷運動公園運動場の運営を実施 利用者 13,054人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休場に伴い、利用者は目標を下回ったが、適切な施設の管理運営を行い、区民のスポーツ活動の場を提供することができた。
	事業の課題	コロナ禍の中、ガイドライン等に基づいた適切な施設の管理運営を行いながら、施設利用者の確保に努める必要がある。
担当課評価	C 新型コロナウイルスによる施設の休場により、施設利用者数が目標を下回ったため。	

【スポーツ振興課】

N0.	2-(3)-②-80	
取組	②区外スポーツ施設の活用	
事業名	80 江戸川河川敷野球場	
事業の概要	区民のスポーツ活動を行う場を充実するため、江戸川河川敷の野球場をスポーツ施設として一般財団法人サンケイスポーツセンターから借り上げ、区民へ貸し出しする。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり江戸川河川敷野球場の運営を実施する。 利用者 14,000人
	事業実績	下記のとおり江戸川河川敷野球場の運営を実施 利用者 11,754人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休場に伴い、利用者は目標を下回ったが、適切な施設の管理運営を行い、区民のスポーツ活動の場を提供することができた。
	事業の課題	コロナ禍の中、ガイドライン等に基づいた適切な施設の管理運営を行いながら、施設利用者の確保に努める必要がある。
担当課評価	B 新型コロナウイルスによる施設の休場により、施設利用者数が目標を下回ったため。	

【スポーツ振興課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】

【(4) 身近な運動場所の確保】

N0.	2-(4)-①-81	
取組	①区立小・中学校の活用	
事業名	81 学校開放	
事業の概要	区立小・中学校の施設（校庭、体育館等）を、学校教育に支障のない範囲で、スポーツ・学習活動等、社会教育その他公共のために開放する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり学校開放を実施する。 学校開放利用人数 延500,000人
	事業実績	下記のとおり学校開放を実施。 学校開放利用人数 延67,754人
	事業の成果	各小・中学校施設を開放することで、区民のスポーツ、文化活動の機会確保に貢献することができた。
	事業の課題	引き続き、事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校開放を中止した期間があったため。

【庶務課】

N0.	2-(4)-①-82	
取組	①区立小・中学校の活用	
事業名	82 スポーツひろば	
事業の概要	区民が身近な場所でスポーツを始めるきっかけの場として、競技スポーツのほか、気軽に取り組めるニュースポーツなどの教室を実施する。また、利用促進のため、各ひろばにおいて、初心者教室を実施する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおりスポーツひろば事業を実施する。 利用者 10,000人
	事業実績	下記のとおりスポーツひろば事業を実施 利用者 799人
	事業の成果	新型コロナウイルスによるスポーツひろばの一部種目（会場）を休止したことにより、利用者が目標を大幅に下回ることとなった。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍でのスポーツひろば事業の実施方法等について検討が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによるスポーツひろばの一部種目（会場）を休止したことにより、利用者が目標を大幅に下回ることとなったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】

【(4) 身近な運動場所の確保】

N0.	2-(4)-①	
取組	①区立小・中学校の活用	
事業名	幼児がのびのびと運動できる場所の整備【再掲事業3】	
事業の概要	区立施設等を活用することで、就学前の幼児が親と気軽に安心してボール遊び等、のびのび運動ができる場所の整備を検討する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	のびのび運動ができる場所の整備を実施する。
	事業実績	のびのび運動ができる場所の整備を実施
	事業の成果	毎週土曜日午前中にたなかスポーツプラザグラウンドを無料開放し、幼児が親と一緒に運動ができる場所を提供した。
	事業の課題	身近な公共施設である学校の活用について検討が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより学校開放事業が休止していたこともあり、身近な公共施設である学校の活用ができなかったため。

【スポーツ振興課】

N0.	2-(4)-②-83	
取組	②その他の施設の活用	
事業名	83ランニング環境の整備	
事業の概要	隅田川沿い等のランニングコースにおいて、安全・安心にランニングができるよう河川管理者と連携し情報発信等を行い、区民が身近な場所で快適にランニングに取り組める環境を整備する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	ランニングに取り組める環境を整備する。
	事業実績	ランニングに取り組める環境を整備
	事業の成果	隅田川沿いのランニング利用者の拠点として、台東リバーサイドスポーツセンター更衣室をランニングステーションとして利用できるよう整備した。
	事業の課題	事業を広く周知し、利用者数の増加に取り組む必要がある。
担当課評価	A	隅田川沿いのランニング利用者の拠点として、台東リバーサイドスポーツセンター更衣室をランニングステーションとして利用できるよう整備したため。

【スポーツ振興課】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】

【(4) 身近な運動場所の確保】

N0.	2-(4)-②-84	
取組	②その他の施設の活用	
事業名	84 都立浅草高等学校温水プール区民開放	
事業の概要	東京都と連携して、都立浅草高等学校の温水プールを学校の利用が無い期間借り上げ、区民に開放する。また、初心者に向けた教室などを開催する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり都立浅草高等学校温水プールの区民開放を実施する。 利用者 3,200人
	事業実績	下記のとおり都立浅草高等学校温水プールの区民開放を実施 利用者 393人
	事業の成果	新型コロナウイルスによる施設の休館に伴い、利用者は目標を下回ったが、適切な施設の管理運営を行い、区民のスポーツ活動の場を提供することができた。
	事業の課題	利用者数が伸び悩んでおり、事業運営について見直しが必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスによる施設の休館により、施設利用者数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	2-(4)-②-88	
取組	②その他の施設の活用	
事業名	88 児童館・こどもクラブ	
事業の概要	0～18歳までの児童とその保護者を対象とした児童館及び放課後に保育する保護者がいない小学生を対象としたこどもクラブにおいて、スポーツや遊びを通して体力増進を図るとともに、仲間づくりの場を提供します。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	下記のとおり児童館事業及びこどもクラブ事業を実施する。 児童館 8館、こどもクラブ 24か所
	事業実績	下記のとおり児童館事業及びこどもクラブ事業を実施 児童館 8館、こどもクラブ 24か所
	事業の成果	新型コロナウイルス感染症により児童が体を動かす機会や場所が限られる中で、日々の活動でスポーツや遊びを実施し、体力増進を図るとともに、仲間づくりの場を提供した。
	事業の課題	新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を万全に講じて実施していく必要がある。
担当課評価	A	感染症対策を講じながら、児童館全8館とこどもクラブ全24か所で事業を実施したため。

【児童保育課（放課後対策担当）】

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】

【(4) 身近な運動場所の確保】

NO.	2-(4)-②-89	
取組	②その他の施設の活用	
事業名	89放課後子ども広場（平成30年度から放課後子供教室に名称変更）	
事業の概要	放課後等における学校施設を活用した児童の安全な居場所づくりを推進する放課後子ども広場において、プログラムにスポーツ活動等を取り入れ、児童の健やかな成長を支援します。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり放課後子ども広場（放課後子供教室）を実施する。 放課後子ども広場（放課後子供教室） 9校
	事業実績	下記のとおり放課後子ども広場（放課後子供教室）を9校で実施 ・千束小学校（平成20年7月 事業開始） ・石浜小学校（平成28年4月 事業開始） ・大正小学校（平成30年4月 事業開始） ・忍岡小学校、蔵前小学校（平成31年4月 事業開始） ・上野小学校、谷中小学校、浅草小学校、金竜小学校 （令和2年4月 事業開始）
	事業の成果	新型コロナウイルス感染症により児童が体を動かす機会や場所が限られる中で、校庭や体育館で実施する活動にスポーツを取り入れ、健やかな成長を支援した。
	事業の課題	新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を万全に講じて実施していく必要がある。
担当課評価	A	感染症対策を講じながら、開設している9校全校で実施したため。

【児童保育課（放課後対策担当）】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】

【(1) パラリンピックの気運醸成】

N0.	3-(1)-①-91	
取組	①パラリンピック競技の団体に対する支援	
事業名	91パラリンピック出場予定のアスリートへの支援及び連携	
事業の概要	台東区とつながりが深いパラリンピック競技のトップアスリートに対して活動場所の確保等を行い、台東区を活動の拠点とした障害者スポーツ活動を支援する。また、支援するトップアスリートと連携し、区民の障害者スポーツへの関心の向上を図る。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	パラリンピック出場予定のアスリートへの支援及び連携の実施
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	3-(1)-②-92	
取組	②パラリンピック競技の大会誘致	
事業名	92パラリンピック競技の大会誘致	
事業の概要	パラリンピック競技の全国規模の大会誘致を行うことで、間近でハイレベルな競技を観戦する機会を提供し、障害者スポーツへの関心を持つきっかけを作る。また、大会の運営を通じてスポーツボランティアなどの活躍の場を創出する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	パラリンピック競技の大会誘致の実施
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止(夏パラバレーボール選手権大会)
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】
 【(2) 障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり】

N0.	3-(2)-①-93	
取組	①障害者スポーツの初心者に向けた教室	
事業名	93障スポチャレンジ	
事業の概要	区民が身近な場所で障害者スポーツを始めるきっかけを作るため、区立スポーツ施設や区内小・中学校において誰でも気軽に障害者スポーツに参加できる「障スポチャレンジ」を実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	障スポチャレンジを実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	3-(2)-①-94	
取組	①障害者スポーツの初心者に向けた教室	
事業名	94障害者水泳教室	
事業の概要	スポーツに不安や苦手意識を持つ障害のある方のスポーツをはじめのきっかけづくりのため、専門的指導員の指導のもと無理なく全身運動が行える水泳教室を実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり障害者水泳教室を実施する。 参加者 52人
	事業実績	下記のとおり障害者水泳教室を実施 参加者 170人
	事業の成果	初心者を対象とした水泳教室に加え、ステップアッププログラムとして、新たにジュニアレッスン(集団レッスン)・パーソナルレッスン(個人レッスン)を実施し、参加者から好評価を得ることができた。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していくと共に、コロナ禍での教室の実施方法等について検討が必要がある。
担当課評価	A	新たにステップアッププログラムを実施し、参加者のニーズに応えることができたため。

【スポーツ振興課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】
 【(2) 障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり】

N0.	3-(2)-②-95	
取組	②気軽に障害者スポーツに触れる機会	
事業名	95障害者スポーツ体験会	
事業の概要	障害のある方が障害者スポーツを始めるきっかけとし、また、多くの区民に障害者スポーツの魅力を理解してもらう機会とするため、障害の有無に関わらず楽しむことができる障害者スポーツの体験会を実施する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	下記のとおり障害者スポーツ体験会を実施する。 参加者 150人
	事業実績	下記のとおり障害者スポーツ体験会を実施 参加者 149人
	事業の成果	ボッチャ及びブラインドサッカーの体験会を実施し、区民が障害者スポーツに触れる機会を創出することができた。
	事業の課題	障害者スポーツへの関心を持つ人の割合を70%に引き上げる取組を行っていく必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルスによる一部体験会の中止により、参加者が目標に達しなかったため。

【スポーツ振興課】

N0.	3-(2)-②-96	
取組	②気軽に障害者スポーツに触れる機会	
事業名	96障害者スポーツ出前体験事業	
事業の概要	障害のある方が気軽に障害者スポーツに触れ、また多くの区民が障害者スポーツに関心を持てるよう、既存のスポーツイベントにおいて障害者スポーツを体験する機会を取り入れる。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	障害者スポーツ出前体験事業を実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】

【(3) 障害者スポーツを継続できる環境づくり】

N0.	3-(3)-①-97	
取組	①継続したスポーツ教室・イベント事業	
事業名	97下谷青年学級	
事業の概要	知的障害のある青年のための下谷青年学級において、仲間づくりや体力向上、健康増進を目的として、障害の程度に応じてスポーツ活動やレクリエーション活動を実施します。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	年12回、下谷青年学級を実施する。
	事業実績	下記のとおり下谷青年学級を実施 年間活動 3回
	事業の成果	新型コロナウイルスにより活動回数は少なかったが、心身の健康増進や仲間との交流につながる活動を実施することができた。
	事業の課題	新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで、年間12回の学級の実施を行うために、学級内容の再検討をする必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより、活動回数が少なかったため。

【生涯学習課】

N0.	3-(3)-①-98	
取組	①スポーツへの理解を深める講座の開催	
事業名	98城北ブロック4区合同レクリエーション大会	
事業の概要	下谷青年学級内で年に1回、文京・北・荒川区の知的障害者を対象とした青年学級と、合同でレクリエーション大会を実施し、様々なスポーツ・レクリエーションを通じて、幅広い仲間づくりと学級生の主体的な活動を進めます。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	年1回、城北ブロック4区合同レクリエーション大会を開催する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	新型コロナウイルスの感染拡大下において、開催方法の検討を行ったが、中止をすることになった。
	事業の課題	新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで、学級生が主体的に参画することができるような大会プログラムを検討する必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより、事業が中止となったため。

【生涯学習課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】

【(3) 障害者スポーツを継続できる環境づくり】

N0.	3-(3)-②-104	
取組	②誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくり	
事業名	104障害者スポーツ優先利用タイムの導入	
事業の概要	障害のある方が身近にスポーツやレクリエーション活動を行い、また地域での障害者スポーツが定着するよう、区立スポーツ施設の個人開放において優先的に利用できる時間帯を導入する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	障害者スポーツ優先利用タイムを導入する。
	事業実績	障害者スポーツ優先利用タイムを導入
	事業の成果	清島温水プールにて、毎週金曜日に障害のある方が優先的に利用できる時間帯を設け、一部レーンを「ハートフルスペース」として開放し、障害のある方が安心して自発的にスポーツを継続できる環境を整備した。
	事業の課題	障害のある方が安心してスポーツができるよう、障害者スポーツを取り巻く周囲の理解の推進を図ることが必要である。
担当課評価	A	障害のある方がスポーツ施設を優先的に利用できる時間帯を導入し、安心して自発的にスポーツを継続できる環境を整備したため。

【スポーツ振興課】

N0.	3-(3)-②	
取組	②誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくり	
事業名	区立スポーツ施設職員の教育【再掲事業73】	
事業の概要	区立スポーツ施設に、障害者スポーツに関する知識や支援技術を持つ職員の配置を検討し、障害の有無に関わらず、誰もが安全・安心に楽しく利用できるスポーツ施設を目指す。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	区立スポーツ施設職員の教育を実施する。
	事業実績	区立スポーツ施設職員の教育を実施
	事業の成果	障がい者スポーツ指導員養成講習会をはじめとする各種講習会の情報提供を行った。
	事業の課題	障がい者スポーツ指導員養成講習会をはじめとする各種講習会に積極的に参加するよう、働きかける必要がある。
担当課評価	A	区立スポーツ施設に公益財団法人日本障害者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員の有資格者を配置しており、併せて各種講習会の情報提供を行ったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】
 【(3) 障害者スポーツを継続できる環境づくり】

N0.	3-(3)-②	
取組	②誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくり	
事業名	下谷青年学級【再掲事業97】	
事業の概要	知的障害のある青年のための下谷青年学級において、仲間づくりや体力向上、健康増進を目的として、障害の程度に応じてスポーツ活動やレクリエーション活動を実施する。	
2 年 度 事 業 評 価	目標 (取組内容)	年12回、下谷青年学級を実施する。
	事業実績	下記のとおり下谷青年学級を実施 年間活動 3回
	事業の成果	新型コロナウイルスにより活動回数は少なかったが、心身の健康増進や仲間との交流につながる活動を実施することができた。
	事業の課題	新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで、年間12回の学級の実施を行うために、学級内容の再検討をする必要がある。
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより、活動回数が少なかったため。

【生涯学習課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】

【(4) 障害者スポーツを通じた相互理解】

N0.	3-(4)-①-105	
取組	①共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座	
事業名	105初級障がい者スポーツ指導員養成	
事業の概要	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催し、障害のある方のスポーツを支える人材を養成するとともに、区内や近隣区の障害者スポーツイベントで活躍する機会をつくり、地域における障害者スポーツを推進する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を実施する。
	事業実績	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を実施
	事業の成果	4区(文京区・台東区・北区・荒川区)合同(幹事持ち回り)で講習会を実施し、障害者スポーツを支える人材を育成することができた。
	事業の課題	事業内容を広く周知しより多くの参加者を募るとともに、受講者が活躍する機会を提供していく必要がある。
担当課評価	A	障害者スポーツを支える人材を育成するとともに、障害者スポーツに関する理解を深める機会として、講習会を継続して実施しているため。

【スポーツ振興課】

N0.	3-(4)-①-106	
取組	①共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座	
事業名	106障害者水泳指導員の養成	
事業の概要	障害のある方を対象に水泳指導を適切に行うことができる指導員を養成するための講習会を開催し、区民が障害者スポーツの指導者として活躍できる機会を提供する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	下記のとおり講習会を実施する。 講習会 1回
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】

【(4) 障害者スポーツを通じた相互理解】

N0.	3-(4)-①-107	
取組	①共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座	
事業名	107区立小・中学校での障害者スポーツ教育	
事業の概要	パラリンピック競技(歴史、意義、人物、競技種目等)について学習するとともに、障害者スポーツの体験や競技者・指導者等との交流を通じ、障害のある方への理解を進める教育を充実させ、多様性を尊重し、共に助け合い、支え合って生きていく児童・生徒を育成します。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	区立全小・中学校で実施
	事業実績	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、区立全小・中学校において、パラリンピック教育を実施
	事業の成果	障害者スポーツについての理解を深めるとともに、児童・生徒の発達段階に合わせ、障害のある方への理解を深めさせることができた。
	事業の課題	新型コロナウイルス感染症対策のため、外部講師を招いての体験学習の中止を余儀なくされた学校があった。座学の充実だけではなく、体験活動の充実を図っていくことが課題である。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症対策のため、外部講師を招いての体験学習の中止を余儀なくされた学校があったため。

【指導課】

N0.	3-(4)-①	
取組	①共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座	
事業名	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座【再掲事業61】	
事業の概要	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、大会を楽しむための知識の取得や歴史等を理解する講座を実施します。また、講座の開催により蓄積した情報を区内に発信し、大会の気運醸成につなげます。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の気運醸成を図る講座を実施する。 5講座
	事業実績	実施講座数 2講座 { 受講者数 延53名 } { 日数 延6日 }
	事業の成果	オリンピック・パラリンピックの歴史やおもてなしといった講座を開催することができた。
	事業の課題	コロナ禍においても講座を開催できるような環境整備が必要である。
担当課評価	C	新型コロナウイルスの影響により、当初予定した講座数より講座数が減少したため。

【生涯学習課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】

【(4) 障害者スポーツを通じた相互理解】

N0.	3-(4)-①	
取組	①共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座	
事業名	区立スポーツ施設職員の教育【再掲事業73】	
事業の概要	区立スポーツ施設に、障害者スポーツに関する知識や支援技術を持つ職員の配置を検討し、障害の有無に関わらず、誰もが安全・安心に楽しく利用できるスポーツ施設を目指す。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	区立スポーツ施設職員の教育を実施する。
	事業実績	区立スポーツ施設職員の教育を実施
	事業の成果	障がい者スポーツ指導員養成講習会をはじめとする各種講習会の情報提供を行った。
	事業の課題	障がい者スポーツ指導員養成講習会をはじめとする各種講習会に積極的に参加するよう、働きかける必要がある。
担当課評価	A	区立スポーツ施設に公益財団法人日本障害者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員の有資格者を配置しており、併せて各種講習会の情報提供を行ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	3-(4)-②-108	
取組	②障害者スポーツによる区民の交流	
事業名	108総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの実施	
事業の概要	総合型地域スポーツクラブに対し、障害者スポーツの指導者の確保やノウハウの習得など、障害者スポーツ事業を実施することができるよう支援し、継続して障害者スポーツに参加する機会を設ける。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツを実施する。
	事業実績	総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの実施
	事業の成果	総合型地域スポーツクラブ啓発事業においてボッチャを実施し、障害者スポーツを通じた区民の交流や、同クラブと連携して障害者スポーツを推進することができた。
	事業の課題	障害者スポーツを推進する自主的な活動を促進させるため、指導者の確保やノウハウの取得、継続して参加できる環境が必要である。
担当課評価	A	障害者スポーツを通じた区民の交流や、総合型地域スポーツクラブと連携して、障害者スポーツを推進することができたため。

【スポーツ振興課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】

【(4) 障害者スポーツを通じた相互理解】

N0.	3-(4)-②-109	
取組	②障害者スポーツによる区民の交流	
事業名	109地域スポーツ団体と連携した障害者スポーツの実施	
事業の概要	障害者スポーツの指導者や活動場所の不足を課題とする地域スポーツ団体に対し、指導者の育成・紹介や活動場所の確保等の連携により、障害者スポーツの活動を普及する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	地域スポーツ団体と連携した障害者スポーツを実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

N0.	3-(4)-②	
取組	②障害者スポーツによる区民の交流	
事業名	障スポチャレンジ【再掲事業93】	
事業の概要	区民が身近な場所で障害者スポーツを始めるきっかけを作るため、区立スポーツ施設や区内小・中学校において誰でも気軽に障害者スポーツに参加できる「障スポチャレンジ」を実施する。	
2年度事業評価	目標 (取組内容)	障スポチャレンジを実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	－
	事業の課題	－
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)】

【(4) 障害者スポーツを通じた相互理解】

N0.	3-(4)-②	
取組	②障害者スポーツによる区民の交流	
事業名	障害者スポーツ体験会【再掲事業95】	
事業の概要	障害のある方が障害者スポーツを始めるきっかけとし、また、多くの区民に障害者スポーツの魅力を理解してもらう機会とするため、障害の有無に関わらず楽しむことができる障害者スポーツの体験会を実施する。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	下記のとおり障害者スポーツ体験会を実施する。 参加者 150人
	事業実績	下記のとおり障害者スポーツ体験会を実施 参加者 149人
	事業の成果	ボッチャ及びブラインドサッカーの体験会を実施し、区民が障害者スポーツに触れる機会を創出することができた。
	事業の課題	障害者スポーツへの関心を持つ人の割合を70%に引き上げる取組を行っていく必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルスによる一部体験会の中止により、参加者が目標に達しなかったため。

【スポーツ振興課】

N0.	3-(4)-②	
取組	②障害者スポーツによる区民の交流	
事業名	障害者スポーツ出前体験事業【再掲事業96】	
事業の概要	障害のある方が気軽に障害者スポーツに触れ、また多くの区民が障害者スポーツに関心を持てるよう、既存のスポーツイベントにおいて障害者スポーツを体験する機会を取り入れる。	
2 年度 事業 評価	目標 (取組内容)	障害者スポーツ出前体験事業を実施する。
	事業実績	新型コロナウイルスにより中止
	事業の成果	—
	事業の課題	—
担当課評価	C	新型コロナウイルスにより事業が中止となったため。

【スポーツ振興課】

6 学識経験者による意見

【基本目標】1 生涯スポーツ社会の実現

尾木 和英（東京女子体育大学名誉教授）

【全般】

- ・台東区スポーツ振興基本計画を根底に置き、スポーツでみんながつながり輝く台東区を目指して、事業の推進に取り組む基本姿勢が把握できた。多くの困難がある中で、それぞれの施策の目標・重点を明確にした上で各担当課が取り組みの内容を点検評価し、施策の一層の充実を目指そうとしている。
- ・事業ごとに事業実績をできる限り数値化することなどによつて的確な成果と課題の把握に努めている。しかし、想定を上回る新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という）の影響があった。その中で、台東区の実態に即して創意を生かし事業を展開していることが把握できた。
- ・次年度に関してもなお様々な困難があるものと思われる。そのことを織り込んで、「事業の課題」の内容への対応に留意する必要がある。

【個別事業について】

- ・「1-(1)-①-1 幼児運動教室、2 幼児水泳教室」には大きな意義がある。生涯にわたる運動習慣の形成、運動技能の基礎が幼児の運動体験とかかわりを有するからである。新型コロナウイルスによる事業の制限、中止はやむを得ないところであるが、細やかな状況分析に立って、可能であれば細心の留意の上で事業を継続したい。評価の中に、コロナ禍での教室実施方法について検討が必要である、という記述があるが、極めて重要な視点といえる。
- ・「1-(1)-②-1 2 小学校連合運動会、1 3 中学校連合陸上競技大会」に関しては、授業時間確保等の理由から未実施になったことはやむを得ないことといえる。しかし、これらの事業には児童生徒の活動意欲、団体行動の訓練の機会といった意義がある。今後についても、大きな困難があることが予測されるが、これらの事業の意義に対しては確かな認識を持ち続けることが必要である。
- ・「1-(3)-②-3 0 親子参加型スポーツ教室」に関しては、親子のコミュニケーションづくり、子供の基礎体力作りの上で大きな意義がある。この事業の実施に関しても、色々と難しい面があったことと思われるが、それを克服して実施に移し成果を上げたことは評価できる。また、事業課題として、より多くの親子が参加できるプログラムの検討が必要と記されているが、重要な視点である。
- ・「1-(4)-①-3 5 ラジオ体操会の開催支援」に関しては、ラジオ体操が運動習慣の形成にとどまらず、地域の絆づくりの面からも大きな意味を持っていることを指摘したい。この事業についても新型コロナウイルスの影響を大きく受けている。やむを得ないことではあるが、状況が落ち着いた場合は、これまでの実績を大事にして事業展開を図り、地域に根差した事業の実施を期待したい。

【基本目標】2 スポーツのできる環境の整備

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

【全般】

- ・障害の有無や年齢にかかわらず、誰でも利用しやすいスポーツ環境という視点を確かに押さえ、事業の目標・重点を明確にした上で取組内容の趣旨に沿って事業に取り組む基本姿勢が把握できた。
- ・環境の整備については、単に老朽化に対応するのではなく、バリアフリー化やユニバーサルデザインに基づいた整備などについても視野に入れて事業展開を行っていることが評価される。工事実施等にかかわって新型コロナウイルスの影響を受ける中で、様々な努力で施策の充実を目指そうとする姿勢が認められた。
- ・新型コロナウイルスによる施設の休館など、本年度の点検評価によって明らかになった課題とその克服については今後の施策の実施の上でも多々参考になる。事業の課題として記述されているように、ガイドライン等に基づいた適切な施設の管理運営というのは重要な視点の一つである。今後の施策をどう構想し、どう充実を図るか、点検の結果を踏まえて実施に移すことが求められる。

【個別事業について】

- ・「2-(2)-①-72 柳北スポーツプラザ」に関しては、年齢や障害の有無にかかわらず利用できる、という趣旨を根底に置き、区民のニーズに応じることを意識して事業展開していることが評価される。これは、基本目標2にかかわる環境整備の全ての事業に共通しており、確かな成果を上げていることが確認できた。
- ・「2-(3)-①-74 台東リバーサイドスポーツセンター」に関しては、新型コロナウイルスによる影響を受ける中で、状況に応じる施設管理によって、目標は下回ったけれども、区民に対してスポーツ活動の場を提供することができた点を評価したい。しかし、今後については、さらに大きな困難が起こることも懸念される。これは、その他の施設の管理運営についてもいえることであるが、決して問題を発生させることのないよう留意しながら、効果的な事業展開を図ることが求められる。
- ・「2-(3)-②-79 荒川河川敷運動公園運動場、80 江戸川河川敷野球場」に関しては、新型コロナウイルスの影響はあるものの、かえって区民のニーズは大きいものがあることが予測される。やむを得ず施設を休場する場合もあるものと思われるが、状況に応じる適切な管理運営の検討が重要であると考えられる。
- ・「2-(4)-①-81 学校開放」に関しては、区民のニーズは大きく、その意義も多面的であると思われるが、実施については様々な困難が予測される。問題点を整理して捉え、効果的な実施について検討されることを望みたい。

【基本目標】3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

【全般】

- ・ 障害の有無や年齢にかかわらず、誰もがスポーツでつながり輝くこと、スポーツによって生活を豊かにし、感動を共にするという趣旨が全事業で意識されている。障害者スポーツの推進は地域社会の活性化や健康社会、共生社会の構築につながるという基本認識を根底において事業展開されていることが確認できた。
- ・ 新型コロナウイルスの影響を受け、ほとんどの事業は目標を達成することが難しかったが、様々な困難がある中、その条件の中で、各事業の効果的な実施に取り組もうとする基本姿勢は把握できた。
- ・ スポーツに不安や苦手意識を持つ障害のある方の意識に立って事業展開がなされていることは評価できる。実態に即し、障害の程度に応じる活動についても留意されていることが把握できた。

【個別事業について】

- ・ 「3-(2)-②-95 障害者スポーツ体験会」に関しては、障害の有無にかかわらず楽しむことのできる障害者スポーツの体験をすることが重要であるという認識をもって着実な事業展開をし、確かな成果を収めている。新型コロナウイルスの影響のある中で、目標に近い参加者を得たことは立派である。今後も新型コロナウイルスへの対策とともに、スポーツ種目の選定、実施方法などに工夫を凝らすことが望まれる。
- ・ 「3-(3)-②-104 障害者スポーツ優先利用タイムの導入」に関しては、障害のある方が安心して自発的にスポーツを続けることができるようになった、そのことがスポーツ環境の整備ということで意味があったと思われる。障害のある方がどのようなことで抵抗感を抱くことになるのか、その把握が重要であろう。どのような配慮が求められているか、今後も、障害のある方の立場に立って、事業内容に検討を加えることが求められる。
- ・ 「3-(4)-①-105 初級障がい者スポーツ指導員養成」に関しては、障害のある方のスポーツを支える人材養成が重要な課題であるだけに、本事業の充実には大きな意味がある。また、本事業の内容として、人材養成とともに、区内や近隣区の障害者スポーツイベントで活躍する機会をつくることも視野に入れていることは評価したい。このような機会を経て、スポーツに親しみ、活躍する方が増えることが地域の障害者スポーツ充実に結びつくものと思われる。
- ・ 「3-(4)-①-107 区立小・中学校での障害者スポーツ教育」に関しては、これからの社会を担う小・中学校の児童生徒にとって、障害のある方への認識を深めることが極めて重要であることを指摘したい。それだけに、新型コロナウイルスの影響のある中で全小・中学校でパラリンピック教育が実施されたことは評価したい。特に児童生徒の発達段階に応じて実施されたことは大きな意味が認められる。

【基本目標】1 生涯スポーツ社会の実現

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

【全般】

- ・この事業評価は、端的に考えれば、目標値に対しての実現値の如何を評価するものである。それを承知の上で、観点を拡げて事業の計画、運営全般にわたっても意見を書かせてもらい、質問したいこともあった。
- ・スポーツ教室等においては、指定管理者に委託して実際に事業を行う場合、事業の推進実態やその成果の評価について、担当事業課はどの程度実際の事業評価に関与しているのか。また、数値などに表れない実際の受益者の感想はどうか。指定管理者が指導・対応にあたる際の現場の姿も知りたかったので、事業担当課に確認させてもらった。
- ・「区民が区民を育てる」という時代であり、区民の支援や教育に直接関わる社会教育・体育が学校教育と並んで重要な時代ということである。そうした意識を区民も行政職員も高めることが大切だと思う。そのような意味からも「ボランティアや指導者育成」、「区民への情報発信」等の事業は望ましく、いい事業だと思う。一層の充実を願っている。

【個別事業について】

- ・「1-(1)-①-1 幼児運動教室、4 幼児の体力向上指導、5 幼児の体力向上支援」これらの3事業は、スポーツ専門指導員を配置して行う事業だと思われる。事前に指導者講習を実施するのであろうが、どのような内容であろうか。実技の専門性だけでなく、幼児期の関心や意欲を高めたり、保護者意識の理解を高めるものもあってほしい。
- ・「1-(1)-②-1 4 専門的指導員の活用」については、教職員の働き方改革の一環であり、勤務時間の改善の一助になる事業にもなり得るため、期待できる。一方で気がかりな点もある。中学生期は心身の変化が大きく、健全育成や指導方法について、当該学校の教職員との共通認識が必要にもなる。また、配置面については、学校の必要に応じて適切に措置できるか否かという問題もある。担当事業課にはこれらの面を適切に進める調整力も必要となろう。記載したこの4事業は、運営する担当課が異なっているため、事業の管理運営にあたっては、担当課間で連携協力することが必要と思われる。

【基本目標】2 スポーツのできる環境の整備

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

【全般】

- ・台東区は、狭隘な地域である。スポーツ環境としては恵まれているとは言い難いが、それだけに、スポーツ施設の充実に意を注ぎ、一層の創意工夫が必要である。
- ・荒川区の河川敷、江戸川区のグラウンド、都立浅草高等学校プール等々の借用、区立学校の体育施設の活用は領けるところである。担当事業課の気遣いや苦労も推し量りしつつ、環境の整備・充実にあたっては、利用する全ての人を対象にした視野の広い考えによって対応することが不可欠であると思う。また、「バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進」は、現代社会の常識という意識で、一層充実してほしい。

【個別事業について】

- ・「2-(3)-①-73 区立スポーツ施設職員の教育」について、利用者のための事業の充実で最も重要なことは、携わる職員の資質の向上であると思う。記されているように、障害者スポーツに関わる知識や支援技術はもとより、意識や心情、言動に到るまで利用者は期待していよう。
- ・「2-(4)-①-81 学校開放」については、今年度はコロナ禍の影響で、利用者延べ人数が約67,000人と少なかったが、担当事業課が掲げる利用目標値は50万人であるから、小中学校のグラウンドや体育館開放の期待は大きいと言える。地域環境から考えてみても領けるものがある。学校の教育等に支障をきたさないようにという前提のもと、学校関係者の理解を得て、利用方法の適正化に努めながら、この事業の円滑、活性化を期待している。
- ・「2-(4)-②-88 児童館・こどもクラブ」については、幼児や児童に遊びやスポーツをする場を提供する事業である。こどもクラブは、仕事を持つ保護者を支える極めて重要なものとなっている。新型コロナウイルス感染症対策を講じたり、保護者との連絡も密にしながら対応する職員の姿が髣髴とする。
- ・「2-(4)-②-89 放課後子ども広場」については、事業の趣旨は前項88と同様で、区立小学校9校で放課後に実施していて、実施校は地域にバランスよく配置されていると思う。実指導、対応は民間数社への委託事業であるが、委託会社、小学校、担当課の打ち合わせ会議を行う中で、適正な運営が行われている。

【基本目標】3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

【全般】

- ・「区民皆が同じように生活できる地域を目指して、障害のある人をスポーツに誘い、継続に努めさせる」、併せて、「区民理解を高める環境づくりをする」という意思が事業施策に端的に表れている。
- ・障害者スポーツによる区民交流事業や小中学校での障害者スポーツ教育の実施など、この事業の推進は、区民の偏見をなくし、障害のある人々の活動を一層高める上で大変いい事業だと思う。また、この基本目標全体は学校が抱えるいじめ・不登校等、生徒指導や徳育の面から考えても価値があると思う。

【個別事業について】

- ・「3-(2)-①-94 障害者水泳教室」について、水泳は全身運動であり、健康増進の観点からも障害のある人にとっても適したスポーツである。反面、危険も伴うため、施設管理や指導については万全を期することが求められよう。この事業では、専属指導員の下で「初心者対象」、「集団レッスン」及び「個人レッスン」と能力の段階を踏んだ細かな対応がされていて、管理や指導面でも適正だと思われる。今後も充実、活性化が期待される。
- ・「3-(2)-②-95 障害者スポーツ体験会」について、人は実際に経験して初めて分かることが多い。そのため、障害者及び障害者スポーツへの理解を深める方法は、実際に体験してもらうことが一番いいと思う。体験の内容、プログラムをどのようなものにするのか、参加者の勧誘や広報ではどのようにするのかは、大いに知恵を絞る必要があると思われる。
- ・「3-(4)-①-107 区立小・中学校での障害者スポーツ教育」については、少年期に根付いた意識は終生心に残る。多様性を尊重して相互支援の意思を持つ児童生徒を育てたい。指導内容や方法を高めて、短時間でもいいので、インパクトのある教育を創ってほしい。
- ・「3-(4)-②-108 総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの実施」については、「地域住民の運営による世代や種目を限らない地域に密着したスポーツの振興」が提唱されてから時間はだいぶ経過したが、実施状況は地域によって差があるようだ。本区におけるこの事業が特色的なのは、障害者スポーツの振興とリンクさせていることで、見識を感じる。地域住民の啓発にも障害を持つ人への支援にもつながる。事業の継続と発展を願っている。

【基本目標】1 生涯スポーツ社会の実現

有村 久春(東京聖栄大学教授)

【全般】

- ・本施策は、「台東区スポーツ振興基本計画」の具現化の象徴に東京2020オリンピック・パラリンピックがあったであろう。そして、それを契機とした区民の「スポーツの喜び・愉しみ」として開花するものであったものと思う。新型コロナウイルス事態にあつて、各事業の推進が中止等に至っていることが極めて残念である。担当課の方々の心痛さが察しられる。それゆえ、事業評価の有り様として「目標値に届かなかった」とすることもむしろ当然であろう。
- ・この事態に向き合う今の体験から、何を学び・何を課題とするのか。これに静かに向き合うことが区民への説明責任（レスポンス）であると考えている。そこには区民との共感があり、再生への期待もあろう。事業によっては内容の見直しや統廃合、そして方針転換など、具体検討のチャンスになるのではないか。ポストコロナ社会の新常態（ニュー・ノーマル）を見通しておきたい。例えば、区民と行政が意思決定と責任を共有する、目標達成よりも体験プロセスに学び合う、スポーツ体験による健康感（Well-being）と幸福感を重視するなど。いわゆる「線形・標準化」を脱し、「非線形・多様化」の進展を模索することである。区民個々のスポーツニーズに学び、それぞれが有するスポーツスキルや知識・態度を形成したい。ここに本施策が目標とする生涯スポーツ社会の実現と未来の姿がみえ、区民の笑顔もみられよう。

【個別事業について】

- ・「1-(1)-①幼児の体力向上」については、幼児自身はもちろんのこと、保護者にとってもこの事業の3/5（A評価）をなんとか実施できたことに学びたい。幼児の体力向上の目的よりも親子のより良い関係づくりや保護者同士の触れ合いなどのニーズに応じられたものと思う。この経験を活かして「オンライン体操教室」のような企画も考えられ、その中でスポーツ専門員の専門性のある指導や動きを画面上で習得することもあろう。
- ・「1-(5)-①ボランティアの育成」について、本事業は次代のスポーツ人材を育てる・支えるうえで、より充実を図りたい。本区ではその区民意識が低いとのこと。その要因を探り、改善策を検討したい。その意味では今回の東京2020オリンピック・パラリンピックはよきチャンスであったろう。延期ゆえに中止や規模縮小などが残念である。オンラインでの実施など可能性を模索してほしい。
- ・「1-(5)-②スポーツを行う団体との連携」について、この事態の中、各団体との連絡調整や可能な範囲での実施努力など事業の維持・発展がみられる。
- ・その他の事業：今の事態下でのスポーツ事業推進は困難を強いられている。この苦境から何を学ぶのか、新たな企画と展開が求められる。

【基本目標】2 スポーツのできる環境の整備

有村 久春(東京聖栄大学教授)

- ・ここでの施策も、基本目標1と同様に新型コロナウイルス事態にあってその推進がうまくかなわなかったことが伺える。担当課の自己評価をみると、22の事業のうちA:8, B:4, C:10との状況である。特にBとCの評価の全てが「新型コロナウイルスによる・・・」とする理由を挙げている。致し方ない結果と受け止めたい。その中においても、オリンピック・パラリンピックの気運醸成や規模縮小による運営努力、予定施設の実施変更などの方法上の工夫をしながらなんとか区民の要望と期待に応じようとする事業推進の意欲を感じるところである。
- ・スポーツ施設等の環境整備の目的は、区民個々が安心して「自らのスポーツ力」を最大限に発揮できるインフラづくりであろう。それに向けた日常的かつきめ細かな配慮と対策があることを評価したい。例えば、障害者が多種多様なスポーツに親しむ機会をつくる、施設そのものの整備とともに隣接する駐車場等の環境を整える、施設のバリアフリー化に努めるなどである。とりわけ河川敷の野球場や運動公園など、自然条件にその施設環境が左右されることへの日常的な整備努力を評価したい。また、区の面積が小さい本区ではスポーツ施設そのものの確保や拡充に苦労があると察する。

【個別事業について】

- ・「2-(2)-①建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン」については、スポーツに親しむ基本要件「誰でも・いつでも・どこでも」を実現されつつあることを評価したい。具体的な施設改修等の成果が利用者にとってどのような実態にあるのか、利用感想や意見・期待など基礎調査を行い、より改善的・挑戦的な事業推進を期待したい。また、ユニバーサルの視点からの新型コロナウイルス対策にはいかなる方向性や課題が考えられるのか、ダイバーシティの発想を重視したロードマップづくりを検討したい。
- ・「2-(3)-①スポーツ施設の管理運営」の目的は、施設そのものの物的管理維持と利用者の活用度が比例するところであろう。その双方が相乗的に機能するところに利用者や担当者の安心安全そしてスポーツ力の向上・発展があると考えられる。今回の担当課の評価では「C」が多い。新型コロナウイルス事態による利用者数の減をそのエビデンスにしていよう。常態的な施設管理の在り方の実態をどう評価したのか。通常時との物的・人的なコスト比はどうであったのか。その問いも言及したいところである。
- ・「2-(4)-①区立小・中学校の活用、②その他の施設の活用」等の運動場所の確保については、日々の運動の楽しみ・喜びを保障する事業だけに新型コロナウイルス事態での運営に思索と苦労が多かったと察する。利用者数こそ激減であるが、事業企画の意義は利用者も評価していると思う。

【基本目標】3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)

有村 久春(東京聖栄大学教授)

【全般】

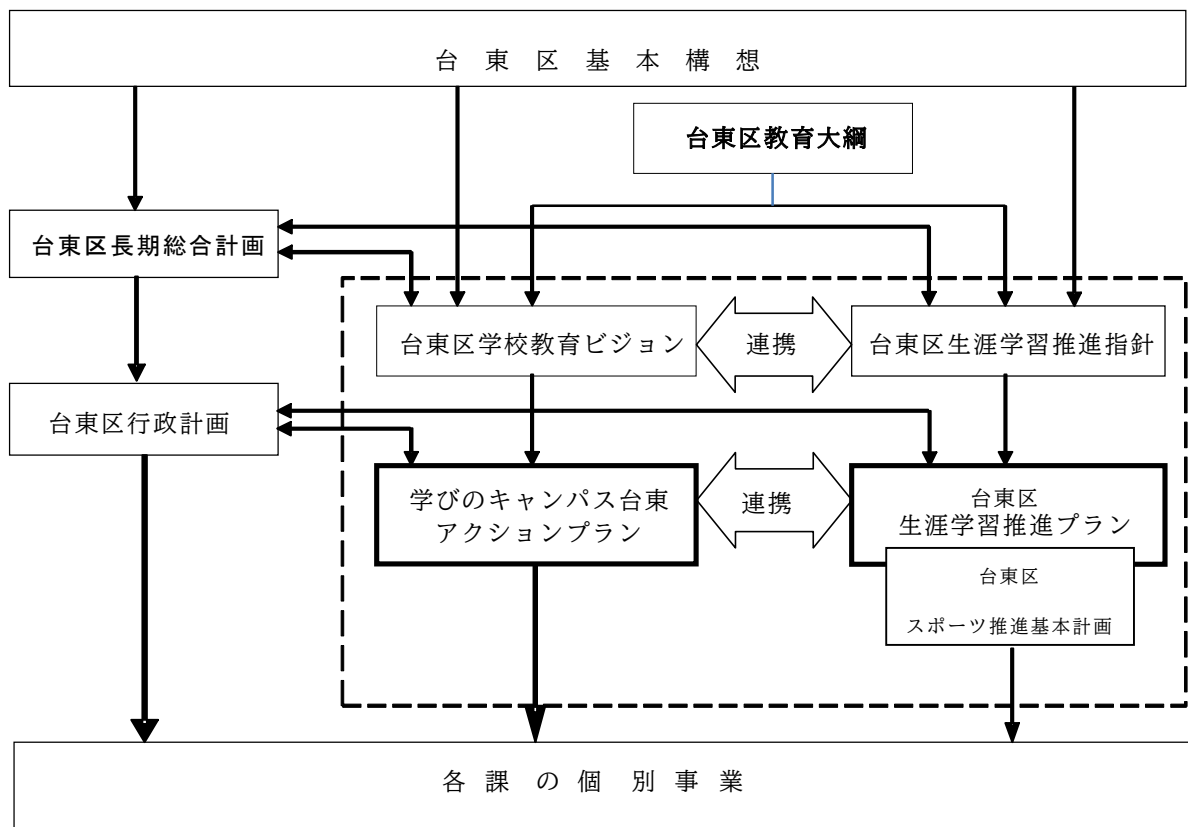
- ・本施策の推進が、区民の日々の生活の安定や人権感覚の成熟を示すとしても過言ではない。この具体化が「支えあう社会の実現」を可能にする。日常的なスポーツ活動そして専門性のあるスポーツの継続は、個々の運動機能の維持向上を促し、その出会いと機会が社会参画のエネルギーに資する。そして、区全体や地域の豊かなコミュニティ形成の役割を果たしている。
- ・ここに台東区のスポーツ力がある。今日の人権意識や価値の多様化のある社会では、単に障害者に配慮するとの発想を超えて、全ての人が人として協働し合う在り方生き方を共有する実態が常態化しつつある。当然本区もその域にあると確信する(「スポーツ振興基本計画」参照)。
- ・近い将来には、「障害者スポーツの推進」と題する事業内容も無意味になるであろう。「誰もがスポーツに親しむ台東」を具現化する施策展開を求めたい(障害者に配慮する、障害者が参加するなどの発想は成り立たない)。区民個々の特性と全人的な人間理解のあるスポーツ施策の推進である。

【個別事業について】

- ・「3-(2)-①-94 障害者水泳教室」及び「3-(2)-②-95 障害者スポーツ体験会」について、この新型コロナウイルス事態にあって、担当課のきめ細かな施策対応が見て取れる。参加者の実態に応じたレッスン態勢や個の自発性のある参画を重視したことがその成果であろう。今後、障害の有無によらない運営とその成果をアンケート調査等で明らかにしたい。参加者にどのような意図や体験そして学びがあったのかを客観的(データとして)に知ることが事業評価を的確にみる指標になるであろう。
- ・「3-(3)-①-97 下谷青年学級、98 城北ブロック4区合同レクリエーション大会」及び「3-(3)-②-104 障害者スポーツ優先利用タイムの導入」については、これらの事業も新型コロナウイルス事態で規模縮小などになっているが、青年学級の組織を活かした展開に意義がある。城北ブロックでの合同大会も有意義である。知的障害者だけの仲間づくりやスポーツ体験に終始しない展開が望まれよう。個の特性とそこにある区民の多様性が相乗し合うところに本事業の発展も期待できよう。
- ・「3-(4)-① 共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座」については、主にスポーツを通じた相互理解がこの目的である。その実施展開などは、新型コロナウイルス事態にあるが実績評価にかなうものであろう。特に「3-(4)-①-107 区立小・中学校での障害者スポーツ教育」の実際は、子供たちが個の特性と人間にある多様な能力や感覚を体験として学ぶ機会である。その評価を子供たち自身に求め、今後の施策展開に活かしたい。

7 参考資料

○ 教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧



※ [] は「教育振興のための施策に関する基本的な計画」

「台東区学校教育ビジョン」、「台東区生涯学習推進指針」、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「台東区生涯学習推進プラン(台東区スポーツ振興基本計画)」は、教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、台東区の「教育振興のための施策に関する基本的な計画」として位置づけられています。

台東区教育大綱

台東区は、上野、浅草、谷中、隅田川など歴史と伝統に恵まれた地域を擁し、情緒ある個性豊かな文化を育んできたまちです。日々のにぎわいある暮らしの中で、子供からお年寄りまで様々な世代が助け合い、心意気と人情で支え合いながら希望と活力にあふれた暮らしを続けています。

今、本区では、こうしたかけがえのない財産を活かし、「教育はひとづくり」の観点から、台東区のまち全体を人が成長するための環境「学びのキャンパス」としてとらえ、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、将来の台東区を担うひとづくりを推進しています。

今後も、この施策をさらに充実させ、地域に支えられたひとづくりが、世界に輝く台東区を築く人材を育むとともに、平和で、多様な人々が活躍できる魅力あるまちづくりへと結びつくよう、次の項目に取り組みます。

●温故創新とこころざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、こころざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとづくりを進めます。

●自己実現と支え合い

区民が生涯を通じて自己実現に努め、自他を尊重し共に支え合い、変化が大きい社会を生き抜く力を培えるよう支援します。

●教育に対する信頼と尊敬

教育に携わる教師・保育士の資質向上をたゆまず図り、子供たちや保護者、地域から、より信頼され尊敬される人材を育成します。

●心の豊かさと学びの環境づくり

区民一人ひとりが心豊かに生涯を送れるよう、いつでも、どこでも、誰もが、ライフステージに応じて学べる環境を整備します。

●絆と地域力

家庭や地域社会の絆を大切にし、活力あるコミュニティの形成に努め、地域力を高めます。

令和元年5月8日

台東区長 服部 征夫

《教育目標》

台東区教育委員会は、子供たちが心身ともに健康で、人権尊重の精神を基調として人間性豊かに未来を創造する人材に成長することを願い、

- 互いの人格や多様性を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りをもち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人

の育成に向けた教育を充実する。

また、だれもが生涯にわたり自己実現に生きがいを見出し、学びを継続し、心豊かに人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を図る。

そして、あらゆる世代が豊かな人間性を養い、心身ともに健やかに成長することができる多様な機会を創出する。

《基本方針》

台東区教育委員会は、「教育目標」達成のため、以下の「基本方針」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

【基本方針1 人権尊重の精神の育成】

幼児・児童・生徒が人権尊重の精神にもとづき、生命を尊び、自他を尊重する心や社会の基本的ルールを身に付け、社会の形成者としてよりよく成長できるよう、家庭・学校(園)・地域社会・関係機関が、それぞれの役割と責任を果たし、緊密な連携のもとに人権教育を推進する。

【基本方針2 学校教育の充実】

未来を創造する幼児・児童・生徒が、たくましく生き抜くことができるよう、健康の増進と体力の向上を図るとともに、基礎・基本を確実に定着させ、自ら学ぶ意欲や態度、思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を育成する。また、集団生活の中で、正義と責任、規律を重んじる態度や社会性を涵養するとともに、個性と創造力を伸ばすことを通して、「生きる力」の基礎を培う学校教育を充実する。

生涯にわたる人格形成の基礎を培うために重要な幼児教育及び学校教育において公教育とともに重要な役割を果たしている私立学校教育については、その振興に努める。

【基本方針3 生涯学習の推進】

区民が生きがいと地域社会に対する愛着をもって生活することのできる生涯学習社会を確立するため、歴史や文化芸術、スポーツ等、多様な学習や活動の機会の提供と質の充実に努める。また、関係団体の自主的な活動の場等の条件整備を一層図り、生涯学習を推進する。

【基本方針4 区民の教育参加の推進】

家庭・学校(園)・地域社会のすべてを人が生涯にわたって学ぶための環境とし、すべての区民が連携・協働して、共に育ちあう地域社会を形成できるよう、区民の教育参加を推進する。

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

報 告 書

令和3年9月発行

編集・発行 台東区教育委員会

〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6

電話 03-5246-1402 / FAX 03-5246-1409

メールアドレス : ed-shomu.lqt@city.taito.tokyo.jp